

種類 番号	固版 番号	器種	法量(cm)		胎土	焼成	色調	形態及び手法上の特徴
			口径	器高 高台径				
98	122	須恵器坏身	12.0		豊 緩	良 好	暗青色	立ち上がりも受け部もかなり要小化している。 立ち上がりは中央部で丸く外反している。
-	-123							

C-11第4層

98	122	須恵器坏身?		9.2	0.2~1mm程度の砂粒を多量に含む。	良 好	暗灰色	底部には少し外方にふんばった高台がつく。
-	-124							

D-7第3層

99	123	須恵器坏蓋	13.4		0.2~2mm程度の砂粒を少量含む。	良 好	青灰色	天井部と体部間に緩けなく、口縁部部若干内方に屈曲する。口縁部部内部には段を有する。 天井部はヘラケズリされており、その他はヨコナデ調整されている。 クロロは左回転。
-	-125							
99	-	須恵器坏身	14.4		細砂粒を少量含む。	良 好	青灰色	立ち上がりは内傾しており、まだしつかりしている。
-	-126							

D-8第1層

99	-	須恵器坏蓋	14.0		0.5~1mm程度の砂粒を少量含む。	良 好	淡青灰色	天井部と体部間に穂の痕跡を残す。 天井部は面縁ぎみに外方へ傾びる。 天井部はヘラケズリされており、その他はヨコナデ調整されている。
-	-127							

D-10第3層

99	-	須恵器坏蓋			0.2~1mm程度の砂粒を少量含む。	良 好	青灰色	天井部に宝珠形のつまみがつくる。 天井部はヘラケズリされており、ロクロロは右回転。
-	-128							
99	-	#	16.0		微砂粒を含む。	良 好	濁白色	口縁部は下方に短く屈曲する。 口縁端部内部には凹溝が施されている。
-	-129							
99	-	須恵器坏身	13.8		微砂粒を少量含む。	良	淡青灰色	立ち上がりは内傾し、しっかりしている。
-	-130							

E-6第3層

99	-	須恵器坏身	13.0		豊 緩	良 好	青灰色	全体に薄手に作られている。 立ち上がりは内傾している。 ヨコナデ調整されている。
-	-131							
99	123	#	12.0	4.0	0.2~2mm程度の砂粒を少量含む。	良 好	暗青灰色	立ち上がりはやや外反しながら延びる。 底部はヘラケズリされており、その他はヨコナデ調整されている。 クロロは右回転。
-	-132							
99	-	#	12.4		0.2~2mm程度の砂粒を少量含む。	不 良	濁白色	立ち上がりも受け部もかなり要小化している。 調整は摩滅しており不明。
-	-133							

E - 8 第1層

新固 番号	旧版 番号	器種	法寸(cm)		胎土	焼成	色調	形態及び手法上の特徴
			口径	器高				
99	-	須恵器壺	20.0		微砂粒を含む。	良 好	灰 色	頸部は外反しながら延び口縁端部は外方に曲を残し、おきめる。頸部外曲には叩き痕が残る。
	-134							

E - 9 第1層

99	-	須恵器壺(?)		9.6	0.2~2mm程度の砂粒を少量含む。	良 好	暗青灰色	底部と体部の境に小さい高台が付く。
	-135							

F - 8 第3層

99	-	須恵器壺身	13.0		堅 織	良 好	青 灰 色	立ち上がりは内傾している。 ヨコナデ調整されている。
	-136							

H - 4 第3層

99	123	須恵器壺蓋	15.0		堅 織	良 好	灰 青 色	天井部と体部間に後を持つたず。口縁部は丸く仕上げる。 天井部はヘラケズリされており、その他はヨコナデ調整されている。 ロクロは左回転。
-137								
99	123	須恵器壺身	12.4	3.7	0.2~2mm程度の砂粒を含む。	良 好	暗青灰色	しっかりした天井部と受け部を持つ。 底部はヘラケズリされており、その他はヨコナデ調整されている。 ロクロは右回転。
-138								

I - 5 第1層

99	-	須恵器壺		12.4	細砂粒を含む。	良 好	暗青灰色	底部の端に短く太い高台が付く。 底部はヘラケズリされている。
	-139							

L - 3 第3層

99	123	須恵器壺蓋	12.8		微砂粒を含む。	良	暗 灰 色	天井部から体部は丸くつくられ、口縁部は少し後を持つように作られている。
-140								
99	123		14.5	3.9	0.2~1mm程度の砂粒を少量含む。	良 好	黑 灰 色	体部は天井部から直線的に外方へ延び端部は丸くおさめる。 天井部はヘラケズリされ、その他はヨコナデ調整されている。 ロクロは右回転。
-141								
99	123		14.0	4.6	0.2~1mm程度の砂粒を含む。	良	墨茶灰色	体部は天井部から丸く作られており口縁部は内側をせている。 端部内面には段の跡跡を残す。 天井部はヘラケズリされている。 ロクロは右回転。
-142								
99	123	土師器壺	16.0		0.2~3mm程度の砂粒を多量に含む。	良	褐 茶 色	直線的な口縁をしており、端部は横を走っている。 調整は摩滅しており不明。
-143								

L-3 第4層

排列番号	回数 番号	器種	法 直(cm)			胎 土	焼 成	色 調	形態及び手法上の特徴
			口 径	器 高	高 台 極				
99	123	須恵器環蓋	12.9			堅 細	良 好	暗 灰 色	口縁は直線的に延び端部は少し内傾する。 底部の内面には段の痕跡を残す。
-144									
99	123	須恵器環身	14.0			細砂粒を少 量含む。	良 好	青 灰 色	立ち上がりも受け部もかなり矮小化して いる。 全体に薄手につくらっている。 SK11出土環身と同一個体の可能性有。
-145									

M-3 第3層

99	123	須恵器環蓋	14.0			堅 細	良 好	暗 灰 色	天井部から体部へは丸くつくられて おり。口縁端部も丸くおさめられて いる。 天井部はヘラケズリされており、その 他はヨコナデ調整されている。
-146									
99	-	須恵器環身	12.6		0.2~2mm程 度の砂粒を少 量含む。	良 好	内 面 灰 色 外 面 暗 灰 色	立ち上がりは直線的に内傾し、しつ かりしている。 底部はヘラケズリされており、その 他はヨコナデ調整されている。 ロクロは右回転。	
-147									
99	-	須恵器環	11.0			堅 細	良 好	白 灰 色	少し外反する体部を持ち、口縁端部 は少し棱を持ち終る。 ヨコナデ調整されている。
-148									

F-7, F-8 土器集中

100	124	須恵器環蓋	14.0		0.2~2mm程 度の砂粒を少 量含む。	良 好	暗 灰 色	天井部と体部間に棱はなく丸くおさめられ れ、口縁はやや外方に延びている。 天井部はヘラケズリされており、その他は ヨコナデ調整されている。 ロクロは右回転。
-149								
100	124	〃	14.0		細砂粒を含 む。	良 好	灰 色	体部は外方へ延びており、口縁部で やや内方に屈曲する。 外面上に自然釉がかかっている。
-150								
100	124	〃	15.0		堅 細	良 好	白 灰 色	体部は直線的に外方へ延び、口縁部で やや内方に屈曲する。 口縁端部内面には段の痕跡を残す。
-151								
100	124	〃	14.0		微砂粒を含 む。	良 好	暗 灰 色	体部は内傾しながら口縁端部に至り、 内面には段を有する。 ヨコナデ調整されている。
-152								
100	124	須恵器環身	13.6		細砂粒を少 量含む。	良 好	青 灰 色	立ち上がりは内傾し、しっかりした ものを持つ。 底部はヘラケズリされている。 ロクロは右回転。
-153								
100	124	〃	13.0		無砂粒を含 む。	良 好	灰 青 色	立ち上がりは内傾し、全体に薄手に作 られている。 底部はヘラケズリされている。 ロクロは右回転。
-154								
100	124	〃	13.0		0.2~3mm程 度の砂粒を少 量含む。	良 好	灰 青 色	立ち上がりも受け部もかなり矮小化 している。 底部はヘラケズリされている。 ロクロは右回転。
-155								

横段番号	縦段番号	器種	法寸(cm)		胎土	焼成	色調	形態及び手法上の特徴
			口径	器高				
100	—	須恵器壺	15.0		微砂粒を多量に含む。	良 好	灰褐色	頸部は外方に直線的に延び、口縁端部で外反する。 内面には凹線が施されている。 ヨコナデ調整されている。
—156								

E-7, 8 撫亂土層出土追物

100	124	須恵器壺蓋	14.0		0.2~3mm程度の砂粒を含む。	良 好	暗青灰色	天井部と体部間に段の痕跡を残す。 口縁端部内面にも段の痕跡を残す。
—157								
100	124	〃	14.0		細砂粒を含む。	良 好	青灰色	口縁端部内面に段の痕跡を残す。 天井部はヘラケズリされており、その他はヨコナデ調整されている。
—158								
100	—	須恵器壺身	12.0		細砂粒を少々含む。	良 好	暗青灰色	立ち上がりも受け部もかなり萎小化している。 底部はヘラケズリされており、その他はヨコナデ調整されている。
—159								
100	124	〃	13.4		堅 繊	良 好	白灰色	立ち上がりも内傾しており、受け部はしっかりとしいる。 外面部には自然釉の付着がみられる。
—160								
100	124	〃	13.4		堅 繊	良 好	青灰色	立ち上がりも受け部もしっかりとしいる。 ヨコナデ調整されている。
—161								
100	124	〃	15.5		0.2~2mm程度の砂粒を含む。	良	青灰色	委小化した立ち上がりを持つが受け部はしっかりとしいる。 底部はヘラケズリされており、その他はヨコナデ調整されている。
—162								
100	125	土師器窓	26.9		0.2~4mm程度の砂粒を含む。	良 好	黄茶色	体部は丸く作られ、外反しながら口縁に至る。 体部中央上方に屈曲する取手が付く。 体部内面はヘラケズリと指圧痕がみられ、外面部はヨコナデされている。
—163								

東播系こね鉢

B-9 第3層

101	125	こね鉢	27.0		0.2~1mm程度を含む。	良 好	灰 色 (口縁部外面 灰黒色)	口縁端部は細まりながら内方へ屈曲する。 体部内外面にはヨコナデによる凹凸がみられる。
—164								

G-5 第3層

101	125	こね鉢		底径 10.0	0.2~1mm程度の砂粒を含む。	良 好	青灰色	底部は糸切りされている。 体部は直線的に外方へ延びる。
—165								

L-3 第4層

101	125	こね鉢	21.0		0.2~2mm程度の砂粒を含む。	不 良	淡赤褐色	口縁端部は細まりながら、内方へ屈曲する。
—166								

C-8 第3層

種類番号	国版番号	器種	法量(cm)			胎土	焼成	色調	形態及び手法上の特徴
			口径	器高	高台径				
101	125	こね鉢	20.0			微砂粒を含む。	良 好	青灰色 (口縁部外面 黒黄灰色)	口縁端部は比較的大きく作られており、内方に屈曲する。
-167									

D-9 第3層

101	125	こね鉢			微砂粒を含む。	良 好	青灰色	口縁はやや外反しており、端部は外面に面を取り、上方につまみ出す。
-168								

B-9 第1層

101	125	こね鉢			細砂粒を含む。	良 好	青灰色 (口縁部外面 灰黑色)	口縁端部は上方につまみ出す。
-169								
101	125	こね鉢			0.2~1mm程度の砂粒を含む。	良 好	青灰色 (口縁部外面 黒灰色)	口縁端部はやや外方に拡張しながら、上方につまみ上げ終る。
-170								

C-9 第3層

101	125	こね鉢			細砂粒を含む。	良 好	灰色	口縁端部は上方につまみ出す。
-171								

B-9 第1層

101	125	こね鉢			細砂粒を含む。	良 好	灰色 (口縁部外面 黒灰色)	口縁端部は外方に三角形状に拡張され、上方につまみ出されている。
-172								

C-10 第3層

101	125	こね鉢			細砂粒を多く含む。	良	黒灰色	口縁端部は外方に三角形状に拡張され、上方につまみ出されている。
-173								
101	126	こね鉢			細砂粒を含む。	良 好	青灰色 (口縁部外面 黒灰色)	口縁端部外面は三角形状に拡張し、上方につまみ出されている。
-175								

A-9 第3層

101	125	こね鉢			細砂粒を含む。	良 好	淡青灰色 (口縁部外面 黒黄灰色)	口縁端部外面は三角形状に拡張されている。 端部はやや内方に屈曲しながら、つまみ出されている。
-174								

C-10第2層

標識番号 図版番号 遺物番号	器種	法量(cm)		胎土	焼成	色調	形態及び手法上の特徴
		口径	器高				
101 126 -176	こね鉢			細砂粒を含む。	良 好	青灰色 (口縁部外面 黒青灰色)	口縁端部外面は三角形状に膨張し、上方につまみ出している。

D-9第2層

101 126 -177	こね鉢			細砂粒を含む。	良 好	灰 色 (口縁部外面 暗灰色)	口縁端部は「く」の字状に内方に屈曲する。
-----------------	-----	--	--	---------	-----	-----------------------	----------------------

L-3第4層

101 126 -178	こね鉢			0.2~2mm程度の砂粒を含む。	良 好	青灰色 (口縁部外面 暗灰色)	口縁端部は少し屈曲するだけで丸くおさめる。
-----------------	-----	--	--	------------------	-----	-----------------------	-----------------------

F-8第1,2層

101 126 -179	こね鉢			0.2~2mm程度の砂粒を含む。	良	白灰色	口縁端部をやや内方に屈曲させ、細く上方につまみ出している。
-----------------	-----	--	--	------------------	---	-----	-------------------------------

C-7第2,3層

101 126 -180	こね鉢			細砂粒を含む。	良 好	闇灰色 (口縁部外面 暗黄色)	口縁端部外面は三角形状に膨張させ、端部は内方に丸く屈曲させている。
-----------------	-----	--	--	---------	-----	-----------------------	-----------------------------------

B-10第2層

101 126 -181	こね鉢			微砂粒を含む。	良 好	青灰色 (口縁部外面 暗灰色)	口縁端部外面は三角形状に膨張させ、端部は内方に屈曲させる。ヨコナゲ調整されている。
-----------------	-----	--	--	---------	-----	-----------------------	---

C-10第2層

101 126 -182	こね鉢			細砂粒を含む。	良 好	灰 色 (口縁部外面 黒灰色)	口縁端部外面は三角形状に膨張させ、端部は「く」の字状に内方に屈曲させている。
-----------------	-----	--	--	---------	-----	-----------------------	--

B-11第2,3層

101 126 -183	こね鉢			細砂粒を含む。	良 好	青灰色 (口縁部外面 暗緑色)	口縁端部は上下に膨張させ、上端は丸く内壁させている。端部内面にはヨコナゲによる凹みがみられる。
-----------------	-----	--	--	---------	-----	-----------------------	---

B-8第3層

102 126 -184	土師器小皿	6.8	1.5	底径 6.0	細砂粒を多量に含む。	良	潤灰白色	底部は斜切りされており、体部は直線的に外方へ延び、端部は丸くおさめられる。
-----------------	-------	-----	-----	-----------	------------	---	------	---------------------------------------

B-9 第3層

標識番号	開拓番号	器種	法寸(cm)			胎土	焼成	色調	形態及び手法上の特徴
			口径	器高	底径				
102	126	土師器小皿	8.2	1.6	5.9	0.2~1mm程度の砂粒を多量に含む。	良	褐茶色	底部は斜めに外方に延び、端部は丸くおさめられる。
-185									

C-7 第3層

102	127	土師器小皿	9.0	1.4	6.2	細砂粒を少量含む。	良	淡茶色	体部はやや内凹しながら外方に延びる。 調整は摩滅のため不明。
-186									

C-7 第1層

102	-	土師器壺	9.8	3.5	4.0	精 良	良	淡茶色	底部はへラ切りされており、体部はやや内凹しながら口縁に至る。 体部外面はヨコナデによる凹凸がみられる。
-187									

C-8 第3層

102	127	土師器壺	13.8	2.6	7.0	精 良	良	灰白色	体部はやや内凹があり口縁に至る。 全体に薄手に作られている。
-188									

C-10 第3層

102	127	土師器小皿	8.4	1.4	5.6	微砂粒を多量に含む。	良	好	暗褐色白色	底部はへラ切りされており、体部は外反しながら口縁に至る。 全体にヨコナデ調整されている。
-189										
102	127	〃	9.4	1.4	7.2	微砂粒を少量含む。	良	好	灰白色	底部はへラ切りされており、体部は直線的に外方に延びる。 ヨコナデ調整されている。
-190										
102	-	土師器壺			5.6	精 良	良	灰白色		少し外方にふんばった高台が付く。 体部はやや内凹しながら外方に延びる。
-191										
102	-	黒色土器壺 (A類)			6.4	0.2~2mm程度の砂粒を含む。	良	内面 黒色 外面 褐茶色		少し外方にふんばった高めの高台が付く。 内面は炭素を吸着させ黒色化している。
-192										
102	127	瓦器壺	16.0			微砂粒を少量含む。	良	黒 色		内壁した体部で口縁端部は丸くおさめる。 体部外面には指痕痕が頗著にみられる。
-193										
102	127	土師器小皿	7.8	1.3	5.4	微砂粒を含む。	良	灰白色		底部はへラ切りされており、体部は外反しながら口縁に至る。
-194										
102	127	〃	7.8	1.4	6.0	微砂粒を含む。	良 好	灰 色		底部は斜めに外方に延び、端部は丸くおさめられる。
-195										

留置 番号	回収 番号	器種	法量(cm)			胎土	焼成	色調	形態及び手法上の特徴
			口徑	高さ	底径				
102	127	土師器小皿	9.0	1.2	7.0	微砂粒を含む。	良	淡褐色	底部はヘラ切りされており、体部は直線的に外方へ延び、口縁端部は丸くおさめられている。
-196									
102	127	II	8.5	1.2	6.2	微砂粒を少許含む。	良	淡黄褐色	体部は直線的に外方へ延びる。口縁端部は丸くおさめられている。
-197									
102	-	土師器环	12.2	3.7	8.0	0.2~1mm程度の砂粒を含む。	良	黄褐色	少し突出した底部を持ち、体部は直線的に外方へ延びて端部は少し外反する。
-198									

D-10第2,3層

102	127	瓦器小皿	8.0		0.5~2mm程度の砂粒を少許含む。	良	淡茶黄色	底部と体部の境に棱を持たず、体部はやや外反しながら口縁端部に笠る。調整は率直のため不明。
-199								

I-4第3層

102	-	土師器环	10.6	3.2	底径 7.6	0.2~1mm程度の砂粒を含む。	良	淡褐色	体部はやや内壁ぎみに立ち上がり、口縁端部は丸くおさめられている。摩滅が著しく調整は不明。
-200									
102	-	瓦器 瓢				精 良	良 好	灰黑色	体部はやや内壁ぎみに立ち上がり口縁端部はやや外反しながら斜る。体部内面にはヘラミガキが施され、外面には指添痕の数条のヘラミガキがみられる。口縁端部外側下半分は指添痕が顕著にみられる。
-201									

J-4第1層

102	127	瓦質土器 小皿			底径 5.4	精 良	良	灰黑色	底部はあ切りされており、体部は内壁ぎみに立ち上がる。全面に皮脂を吸着している。
-202									

L-3第3層

102	127	土師器环	10.8		底径 9.0	精 良	良	淡褐色	底部はあ切りされており、体部は内壁ぎみに立ち上がる。ヨコナデ調整されている。
-203									

B-11第3層

102	127	土 瓢	全長 2.4	幅 —	微砂粒を含む。	良	淡黄褐色	訪錦形をしている。断面はほぼ円形で径1cm程の孔をあける。	
-204									
102	127	II	全長 4.9	幅 1.7	—	精 良	良	淡黄褐色	訪錦形をしている。手づくね痕が顕著にみられる。
-205									

土師質土器、その他

M-3 第3層

編目 遺物番号	図版 番号	器種	法量(cm)			胎土	焼成	色調	形態及び手法上の特徴
			口径	器高	高台径				
103	128	土師質土器	27.0			0.2~2mm程度の砂粒を含む。	良	好	黄茶色
-206		土鍋							

B-9 第3層

103	128	土師質土器	26.0			0.2~3mm程度の砂粒を多量に含む。	良	好	茶色 (外面は煤が吸着し、黒色)
-207		土鍋							

L-3 第3層

103	128	土師質土器	23.0			0.2~5mm程度の砂粒を多量に含む。	良	好	茶色 (外面は煤が吸着し、黒色)
-208		土鍋							

L-3 第4層

103	128	土師質土器	28.0			0.2~5mm程度の砂粒を多量に含む。	良	好	黄茶色 (外面は煤が吸着し、黒色)
-209		土鍋							

C-10 第3層

103	128	土師質土器	32.0			0.2~3mm程度の砂粒を含む。	良	好	黄茶色 (外面は煤が吸着し、黒色)
-210		土鍋							
103	128	#	36.0			0.2~1cm程度の砂粒を多量に含む。	良	好	黄茶色 (外面は煤が吸着し、黒色)
-211									
103	128	#	38.0			0.2~2mm程度の砂粒を多量に含む。	良	好	淡茶色 (外面は煤が吸着し、黒色)
-212									

C-7 第1層

103	128	土師質土器	36.0			0.2~2mm程度の砂粒を含む。	良	好	茶色
-213		土鍋							

C-10 第3層

104	-	土師質土器	24.0			0.2~2mm程度の砂粒を含む。	良	好	暗黄褐茶色
-214		土蓋							
104	-	#	34.0			0.2~1cm程度の砂粒を含む。	良	好	茶黄色
-215									

C - 7 第3層

擇抜 番号	印版 番号	器種	法量(cm)		胎土	焼成	色調	形態及び手法上の特徴
			口径	器高				
104	-	土師質土器 土釜	30.0		0.2~2mm程度の砂粒を含む。	良 好	白黄色	体部は内凹しながら端部に至る。 端部外面には指ナデされ、その境に段を持つ。 釣りさげる穴は、口縁に直接穴を開けづくられてい。
	-216							

C - 7 第2層

104	-	土師質土器	30.0		0.2~2mm程度の砂粒を含む。	良 好	茶黄色	体部は丸くつくられ、口縁端部外観下にヨコナデによる凹みがあり、段を有する。 端部は細くなり、丸くつくられている。 体部外面は指頭痕が顯著で内面はヨコナデされている。
	-217	土釜						

D - 8 第3層

104	-	土師質土器	26.8		0.2~2mm程度の砂粒を含む。	良 好	淡茶黄色	体部は丸くつくられ、外面端部にはヨコナデによる凹みがみられる。 端部は丸くつくられている。 体部外面には指頭痕がみられる。
	-218	土釜						

A - 9 第3層

104	-	瓦質土器	25.0		繊砂粒を含む。	良	灰黒色	外面口縁端部下に水平で小さい鈎が付く。 端部は上部に面を残しあらわせる。 全面模様を吸着させている。
	-219	土釜						

L - 3 第4層

104	-	土師質土器	19.2		0.2~1mm程度の砂粒を含む。	良 好	黄茶色 (外面は煤が付着し、黒色)	外面口縁端部下に水平で三角形状の鈎が付く。 端部はやや内方に彎曲し、丸くおきめている。
	-220	土釜						

D - 7 第2層

104	129	土師質土器	24.0		0.2~4mm程度の砂粒を含む。	良 好	淡黃茶色	外面口縁端部下に付く鈎がかなり退化している。 体部中央には鈎が付いている。 体部外面は指頭痕が顯著で内面はヨコナデされている。
	-221	土釜						

D - 7 第3層

105	129	土師質土器	21.6		0.2~5mm程度の砂粒を含む。	良 好	内面 淡茶色 外面 淡茶黃色	外面口縁端部下に付く鈎がかなり退化している。 体部は丸く作られ、外面は指頭痕が顯著で内面は平滑に仕上げられている。
	-222	土釜						

C - 7 第3層

105	129	土師質土器	28.0		0.2~2mm程度の砂粒を含む。	良 好	茶色 (外面下半は煤が付着し、黒色)	体部から、口縁にかけて丸く作られ、端部下の鈎はかなり退化している。 端部は前方につまみ出されている。 体部上面に鈎が付く。体部外面は指頭痕が顯著にみられ、内面は平滑に仕上げられている。
	-223	土釜						

B - 9 第3層

105	129	土師質土器			0.2~3mm程度の砂粒を多量に含む。	良 好	黑茶色	断面円形で先細くつくられている。 全面指ナデされている。
	-224	土釜脚						

B-10 第3層

検査番号	測定番号	器種	法量(cm)			胎土	焼成	色調	形態及び手法上の特徴
			口径	器高	高台径				
105	129	土師質土器				0.2~2mm程度の砂粒を多量に含む。	良 好	褐茶色	断面円形で直線的に延びる。 全面指ナデされている。
	-225	土釜脚							

F-8 第3層

105	129	土師質土器			0.2~2mm程度の砂粒を多量に含む。			暗灰黄色	断面円形で直線的に延びる。 全面指ナデされている。
	-226	土釜脚							

A-9 第3層

105	129	土師質土器			0.2~3mm程度の砂粒を多量に含む。			黄茶色	断面円形につくられており、上半で屈曲する。 全面指ナデされている。
	-227	土釜脚							

J-4 第1層

105	129	土師質土器	全長 11.3		0.2~2mm程度の砂粒を含む。			淡黄茶色	断面円形につくられており、やや内凹しながら先端に至り、端部は丸くつくられている。 全面指ナデされている。
	-228	土釜脚							

A-9 第3層

105	-	土師質土器			0.5~5mm程度の砂粒を多量に含む。			淡茶色	体部は直線的に延び、端部はやや内方へつまみ上げられている。 体部内面には太い条溝がみられる。
	-229	擂鉢	23.0						

C-10 第3層

105	-	土師質土器			0.2~2mm程度の砂粒を含む。			褐茶色	体部は丸くつくられており、端部はかなり内方に屈曲し、つまみ上げられている。 体部内面には、単位をあけた条溝がみられる。
	-230	擂鉢							

D-10 第3層

105	-	土師質土器			0.2~3mm程度の砂粒を多量に含む。			淡黄茶色	端部はやや内方に屈曲し、つまみ上げられ、外面には指ナデによる凹みがみられる。 体部内面には、太めの条溝がみられる。
	-231	擂鉢	23.4						

C-7 第1層

105	129	土師質土器			0.2~3mm程度の砂粒を多量に含む。			淡褐茶色	体部は直線的に延び、口縁端部を内方につまみ出している。 体部内面には6本一単位の条溝が開き隙をあけて施されている。
	-232	擂鉢	27.8						

備前焼

表 採

106	129	備前焼擂鉢	26.2		1mm前後の砂粒を少量含む。			暗青灰色	口縁端部外面を下方に拡張させ、端部外面をやや凹面にする。 体部内面には単位が広く、目の粗い条溝が施されている。
	-233								

G-5 第3層

押抜番号	回版番号	器種	法量(cm)		胎土	焼成	色調	形態及び手法上の特徴
			口径	器高				
106	129	偏前焼罐鉢	28.0		0.2~2mm程度の砂粒を含む。	良 好	外面口縁部付近暗灰茶色その他暗青灰色	口縁端部外面を下方に丸く延ばさせ、端部上方はシャープな稜を持つ。体部内面には單位が広く、目の粗い条溝が施されている。
	-234							

用 水 内

106	129	偏前焼罐鉢	25.6		1cm以下の砂粒を含む。	良 好	灰褐色	口縁端部は外面下方を厚くし、外面に凹線状の明顯な溝がつけられている。 条溝は10本単位で最上部において10cm間隔で施されている。
	-235							

表 採

106	129	偏前焼罐鉢	30.0		0.5~1mm程度の砂粒を含む。	良 好	褐茶色	口縁は厚く作られ、外面ともに凹線状の溝がつけられている。 条溝は密に施されている。
	-236							

C-8 第3層

106	129	偏前焼罐鉢	29.6		細砂粒を少々含む。	良 好	褐茶色	口縁端部下半を三角形状に下方に延ばさせ、内外面には、凹線状の明顯な溝をつくる。 体部内面には、条溝が密に施されている。
	-237							

E-6 第3層

106	129	偏前焼罐鉢		底深	1mm以下の砂粒を少々含む。	良 好	暗茶褐色	体部はやや内斜しながら外方へ延びる。 内面には金具の柄でかかれたと思われる条溝が密につけられている。
	-238	底部						

B-11第3層

106	129	偏前焼壺	12.5		細砂粒を多量に含む。	良 好	暗茶灰色	頸部より外方に延びる口縁に一枚粘土筋をかぶせて肥厚させている。 全面ヨコナデ調整されている。
	-239							

A-9 第3層

106	129	偏前焼壺	12.4		0.2~1mm程度の砂粒を少々含む。	良 好	暗灰色	頸部は垂直に上方に延び、口縁は外面向を丸く肥厚させている。 全面ヨコナデ調整されている。
	-240							
106	129	#	13.0		細砂粒を含む。	良 好	黒灰色	頸部は垂直に上方に立ち上がり、口縁は外方に折り上げ、丸くおさめている。 全面ヨコナデ調整されている。
	-241							

I-5 第3層

106	129	偏前焼壺	35.0		0.5~2mm程度の砂粒を含む。	良 好	暗灰茶色	頸部は垂直に立ち上がり、口縁は外方に折り上げ、丸くおさめている。 全面ヨコナデ調整されている。
	-242							

A-10 第3層

品目 番号	同様 番号	器種	法量(cm)			胎土	焼成	色調	形態及び手法上の特徴
			口径	器高	高台径				
106	129	備前焼窯	36.4			粗砂粒を含む。	良 好	暗灰色	頭部は垂直に立ち上がり、口縁は外方に折りまげ。丸くおさめている。全面ヨコナガ調整されている。
-	-243								

陶磁器

D-8 第1層

107	131	唐津系皿		4.2	堅 織	良 好	釉 緑灰色 胎土 淡黄褐色	高台は低く削り出されている。 内面見込み部分には砂目積の痕跡が みられる。 釉は高台までかかっていない。
-	-244	底部						

B-8 第1層

107	131	陶胎染付碗	10.0		堅 織	良 好	釉 淡緑灰色 胎土 灰 色	体部上半は直線的に上方へ延びる。 口縁前面は丸くおさめ。 体部外面に発色の薄い具須絵を描く。 カン入が著しい。
-	-245							

C-7 第3層

107	131	陶胎染付碗		5.4	堅 織	良 好	釉 淡緑灰色 胎土 灰 色	高台は高く、体部は内窪しながら延びる。 釉は盤口以外にかけられている。 背面の具須絵がかかれている。 カン入が著しい。
-	-246							

H-4 第3層

107	131	陶胎染付碗		4.3	堅 織	良 好	釉 淡青灰色 胎土 灰 色	高台は高く、体部は内窪しながら延びる。 釉は盤口以外全面にかけられている。 発色の悪い具須絵を描く。 カン入が著しい。
-	-247							

I-4 第3層

107	131	染付碗		4.0	堅 織	良 好	釉 淡青灰色 胎土 白 灰 色	高台は高く、体部は内窪しながら延びる。 釉は盤口以外全面にかけられている。 体部外面には二重綱目文が描かれている。 発色の発色は悪い。
-	-248	底部						

H-4 捣乱層

107	130	青磁染付碗		4.2	堅 織	良 好	内面 淡青灰色 釉 外面 淡 緑 色 胎土 白 灰 色	底部に高台が付き、体部は直線的に外方へ延びる。 内面見込み部にはコンニャク印判による文様がみえる。 釉は盤口以外全面にかけられている。
-	-249	底部						

D-7 第1層

107	130	青磁染付碗	12.0		堅 織	良 好	内面 淡青灰色 釉 外面 淡 緑 色 胎土 灰 色	体部は直線的に外方へ延び、端部は丸くおさめられている。 口縁部内面には四方捺文がかかれている。
-	-250							

H-5 第1層

107	-	青磁染付碗		3.3	堅 織	良 好	内面 淡青灰色 釉 外面 淡 緑 色 胎土 白 灰 色	底部には細い高台が付く。 釉は高台端部以外全面にかけられている。 内面見込み部には、コンニャク印判による五弁花文を持つ。
-	-251	底部						

C-7 第3層

標記番号	図版番号	器種	法量(cm)			胎土	焼成	色調	形態及び手法上の特徴
			口径	器高	高台径				
107	130	染付皿			8.1	堅 織	良 好	釉 淡緑灰色 胎土 白灰色	高台は低く、体部はやや内聳しながら立ち上がる。 内外面に眞須絵が描かれており、外面は唐文がかかる。 發行のみ無釉である。 高台径は大きい。
-252									

I-5 第1層

107	130	染付皿		9.2	堅 織	良 好	釉 淡青灰色 胎土 白灰色	高台は低く、体部はやや内聳しながら立ち上がる。 内外面に眞須絵がある。 外面は唐文である。 發行のみ無釉である。 高台径は大きい。
-253								

D-8 第1層

107	132	唐津系 刷毛目鉢	20.0		堅 織	良 好	釉 緑灰色 胎土 褐茶色	口縁部は体部から屈曲して、外方へ延びたのち、上方に小さく引き出す。 体部内面には、波状の刷毛目痕が認められる。
-254								

D-9 第3層

107	132	唐津系 青緑釉皿	14.0		堅 織	良 好	釉 青緑色 胎土 淡白黄色	体部はやや内聳しながら口縁端部に至る。 内面見込み部には蛇ノ目釉刺ぎが施されている。 釉は高台までかかっていない。
-255								

L-3 第3層

107	132	唐津系 青緑釉皿		4.2	堅 織	良 好	釉 淡緑青色 胎土 淡茶灰色	高台は台形状を呈し、体部は内聳ぎみに立ち上がる。 内面見込み部には蛇ノ目釉刺ぎが施されている。 釉は高台までかかっていない。
-256								

E-7 攪乱層

107	132	肥前系 白磁皿		7.4	堅 織	良 好	釉 背白色 胎土 灰白色	高台は三角形状のものがついている。 内面には中心方向への溝状の凹みがある。
-257								

D-8 第1層

107	132	肥前系 染付皿	13.0		堅 織	良 好	釉 背白色 胎土 灰白色	体部はやや内聳ぎみに立ち上がる。 体部内面には眞須絵が描かれている。 眞須絵の発色は鈍い。
-258								

I-4 第3層

107	132	染付碗		3.5	堅 織	不 良	釉 漆白色 胎土 灰 色	高台は細く高い上げ底状になつていい。 体部は内聳しながら立ち上がる。 染付以外は釉がかかっている。 全体に発色が悪い。
-259								

M-3 第4層

107	132	肥前系 陶器碗	11.6		堅 織	良 好	釉 黄青色 胎土 黄灰色	体部下半は内聳し、上半は直線的に上方へ延びる。 全体にカン入が著しい。
-260								

通 番 号	図版 番 号	器 種	法 式(cm)		胎 土	焼 成	色 調	形態及び手法上の特徴
			口 径	器 高	高台径			
107	132	肥前系陶器			4.2	堅 織	良 好	輪 胎 白 黃 綠 色 胎土 白 黃 色

-261

H-5 第1層

107	132	白磁紅皿	4.0	1.2	1.1	堅 織	良 好	輪 胎 黄 白 色 胎土 灰 白 色
	-262							高台は底く、体部は内凹しながら立ち上がり端部は上面に面を持つ。体部外面には継ぎの沈線が連続してつけられる。輪は外面口縁端までである。

C-8 第3層

108	133	青磁碗	14.0			堅 織	良 好	くすんだ緑色
	-263	(龍泉窯系)						口縁部外面に雷文帯を持つ。内面にも文様を持つ。

C-9 第3層

108	133	青磁碗	14.0			堅 織	良 好	暗 緑 色
	-264	(龍泉窯系)						口縁部外面に雷文帯を持ち、体部内面には片切彫による草花文を持つ。

D-8 第3層

108	133	青磁碗	14.0			堅 織	良 好	くすんだ緑色
	-265	(龍泉窯系)						口縁部外面に雷文帯を持つ。

K-3 第3層

108	133	青磁碗				堅 織	良 好	淡 緑 色
	-266	(龍泉窯系)						口縁部内外面に片切彫による文様がある。

B-9 第3層

108	133	青磁碗				堅 織	良 好	くすんだ緑色
	-267	(龍泉窯系)						体部外側に鶴亀弁を持つ。口縁端部はやや外反する。

D-6 第3層

108	133	青磁碗				堅 織	良 好	淡 緑 色
	-268	(龍泉窯系)						体部外側に鶴亀弁を持つ。カン入が頗著である。

C-10 第3層

108	133	青磁碗				堅 織	良 好	淡 緑 色
	-269	(龍泉窯系)						体部外側に鶴亀弁を持つ。口縁端部はやや外反する。

D-9第3層

種別 番号	同板 番号	器種	法量(cm)			胎土	焼成	色調	形態及び手法上の特徴
			口径	器高	高台径				
108	134	白磁碗				堅緻	良好	灰黃白色	口縁部外面に小さめの玉縁を持つ。 軸は比較的薄い。 体部はやや内脣ぎみに延びる。
-270									

A-9第3層

108	134	白磁碗	14.4			堅緻	良好	灰黃白色	口縁部外面に大きめの玉縁を持つ。
-271									

D-10第3層

108	134	白磁碗			7.0	堅緻	良好	灰黃白色	高台は厚く、削り出しはわずかである。 軸は高台にかかっていない。
-272		底部							

C-9第3層

108	134	白磁碗			8.2	堅緻	良好	灰黃白色	高台は厚く、削り出しはわずかである。
-273		底部							

B-11第3層

108	134	白磁碗			6.6	堅緻	良好	灰白色	高台は厚いが高く削り出し、端部はやや細く作られている。
-274		底部							

C-10第3層

108	135	青磁碗				堅緻	良好	綠白色	体部上位で若干内側に屈曲し、その内面には枕線を持つ。 内面には鶴目文様を持つ。
-275		(同安窯系)	16.0						
108	135	白磁皿		底径	3.6	堅緻	良好	綠白色	底部はやや上げ唇状を呈する。 体部上位で内脣し、その屈曲部の内面に立桟状の段を有する。 内底見込みに草花文様が彫られている。
-276		底部							
108	136	青磁碗		底径	5.4	堅緻	良好	くすんだ緑色	胎土は硬質である。 緑色の釉がかかっている。 蛇ノ目高台の底部である。
-277		(越州窯系)							

D-10第3層

108	136	須恵器碗			底径	7.0	堅緻	良好	青灰色	蛇ノ目高台の底部を呈する。
-278		底部								

石製品

種 類 番 号	国 名	版 号	器 種	石 材	法 量(cm)			重量(g)	観 察
					長 さ	幅	厚 さ		
グリッド名 出土土器名	遺物番号								
109	137		石 錐	サヌカイト	(30.02)	(21.95)	3.55	(1.35)	凹基無茎式 側辺は直線状で平面形は二等辺三角形を呈する。 くりこみはV字状で深い。
A-8第1層	-279								
109	137								
C-8第3層	-280								
109	137								
C-10第3層	-281								
109	137								
C-10第3層	-282								
109	137								
C-10第3層	-283								
109	137								
C-10第3層	-284								
109	137		不 明 (石錐?)		33.60	17.85	3.00	1.98	成作途中の石錐の可能性。 両側辺部に裏側一方からの調整がある。
C-10第3層	-285								
109	137								
D-8第3層	-286		石 錐		29.25	(28.40)	3.65	(1.95)	凹基無茎式 側辺は外弯弧をなし、平面形は二等辺三内形状を呈する。 くりこみはU字状で浅い。
109	137								
D-10第3層	-287								
109	137								
D-10第3層	-288								
109	137								
F-7第1層	-289								
109	137								
D-7, E-7 S H03	-290								
109	137								
E-9SK11	-291								
109	137								
H-5第1層	-292		砾 石	安 山 岩	(77.50)	(72.85)	(29.15)	(277.25)	下半分は欠損している。 研ぎ面は全ての面にあったと思われ、面の中央部は凹んでいる。

図 版



(1)石田遺跡調査区遠景（北西より）



(2)石田遺跡調査区遠景（南東より）

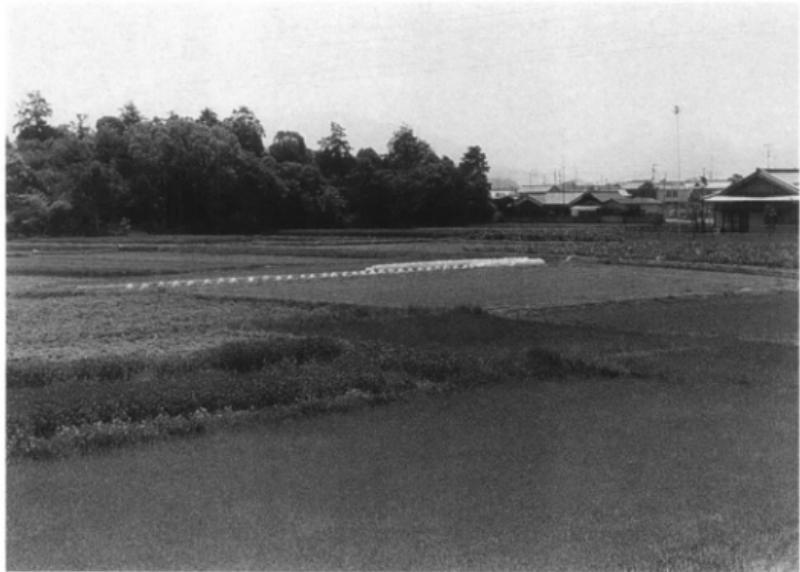
図版 2



(1)調査区発掘風景



(2)調査区発掘風景



(1)調査区発掘調査前風景



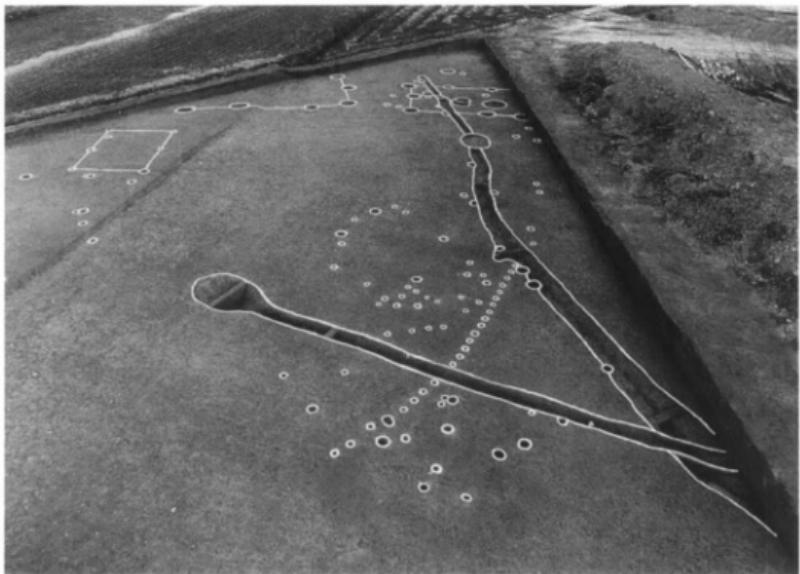
(2)調査区表土剥ぎ



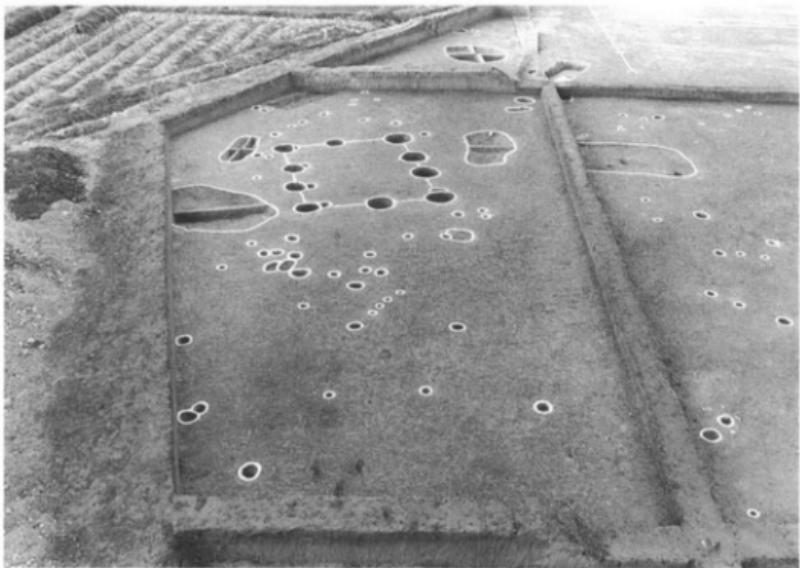
(1) SK 15土層断面



(2) SK 15遺物出土状況

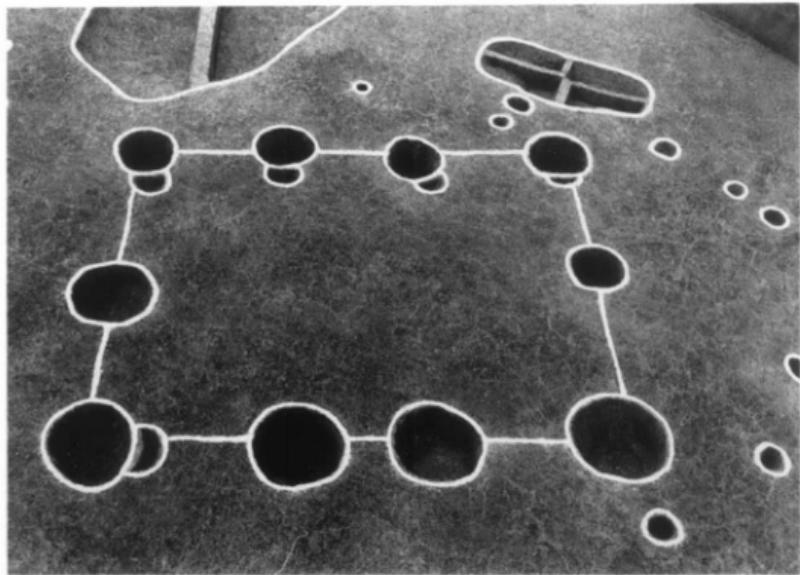


(1) S B 09・10・11検出状況

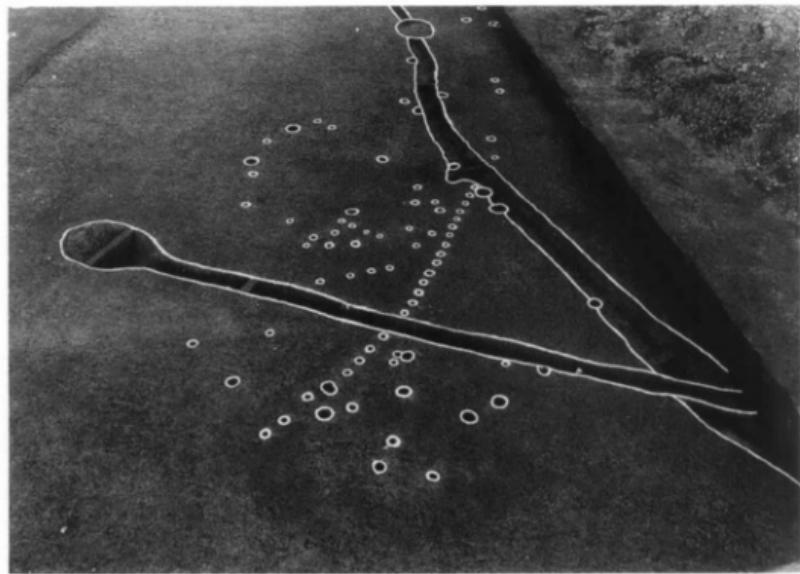


(2) H-7 遺構検出状況

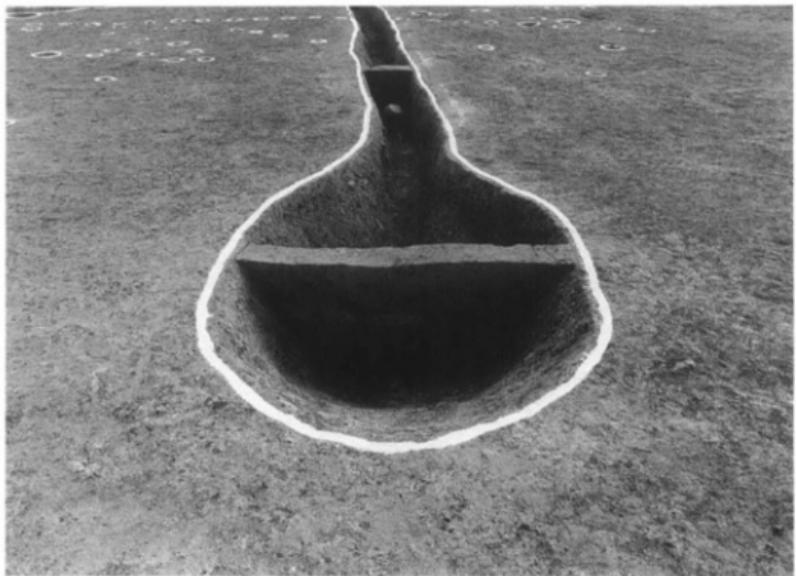
図版 6



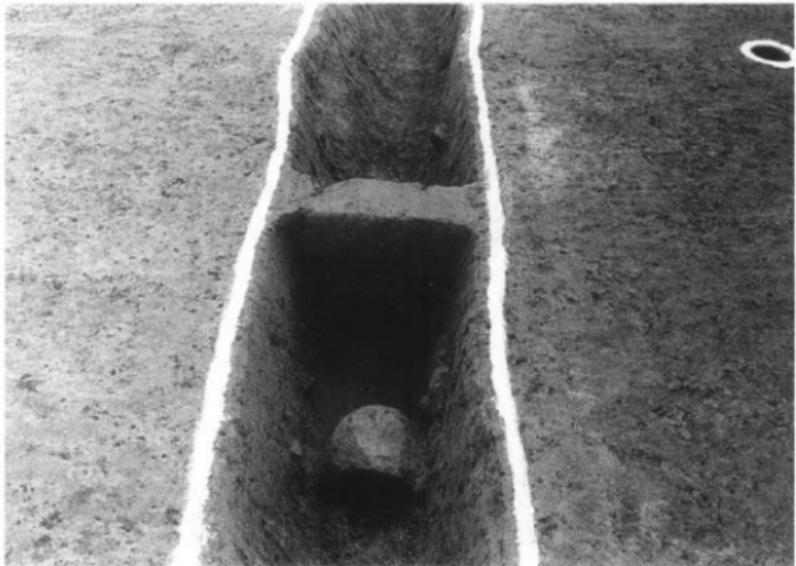
(1) S B 08検出状況



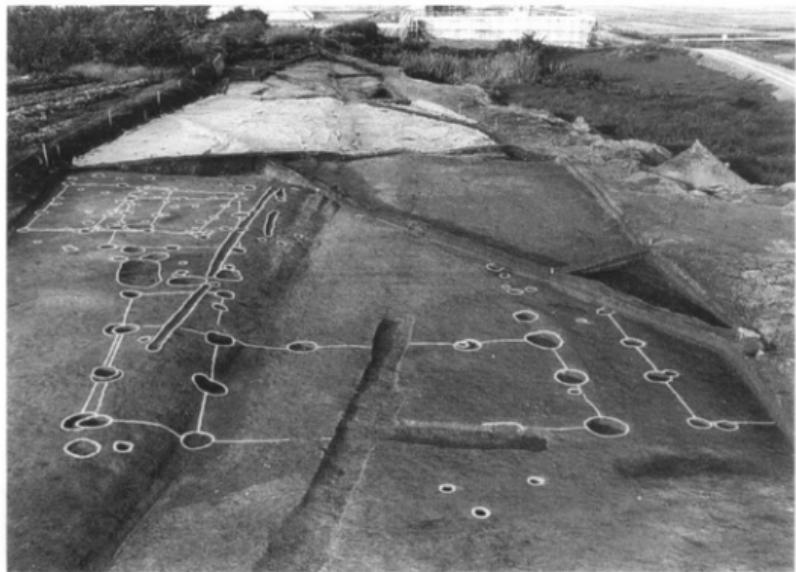
(2) S K 06・S D 23・S A 02検出状況



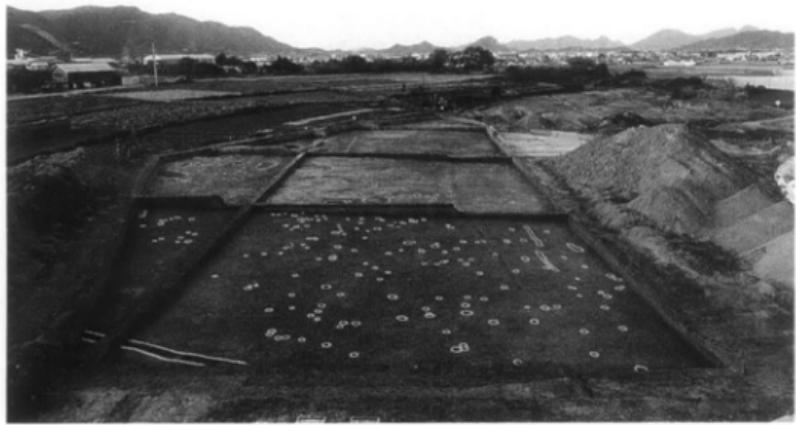
(1) S K 06検出状況



(2) S D 23検出状況



(1) S-B 01・02・03・04・05・06検出状況



(2) F-8, G-7+8, H-7+8, I-7+8 遺構検出状況



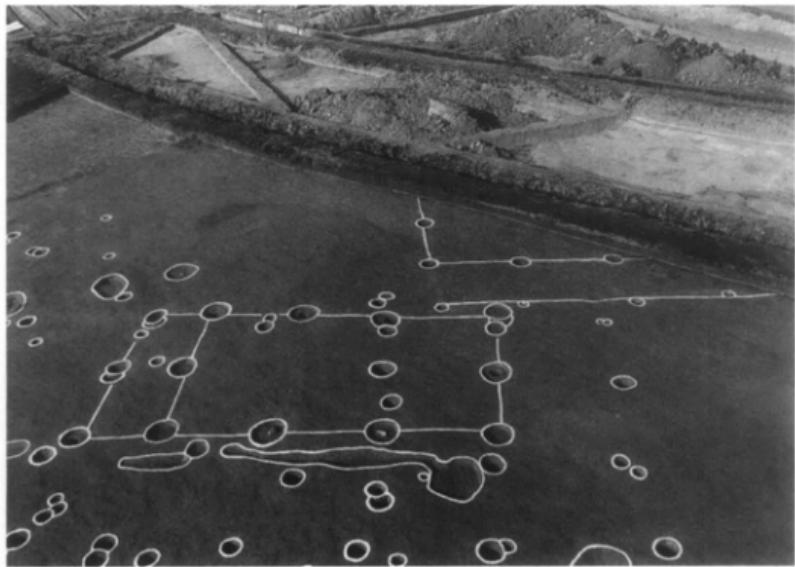
(1) F - 8, G - 8 遺構検出状況



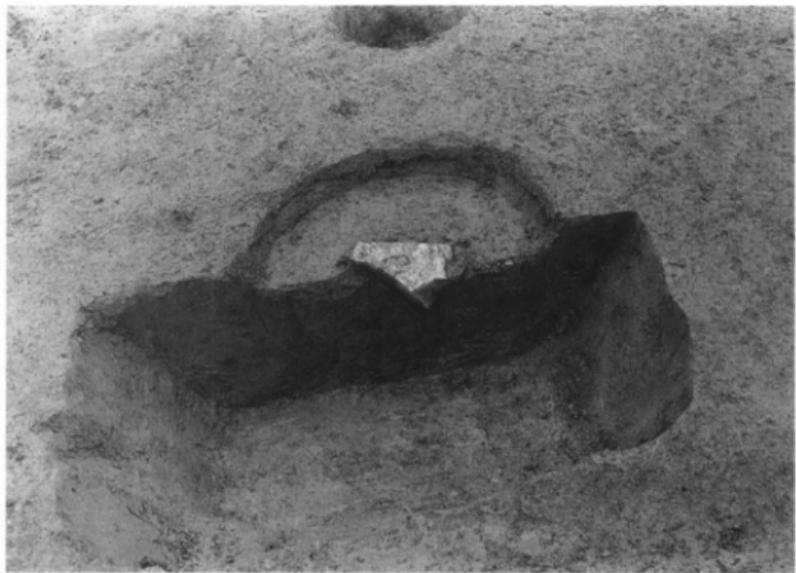
(2) G - 9 遺構検出状況



(1) S B14・15・16, S A03検出状況



(2) S B15・S A03, S B16・S D31検出状況

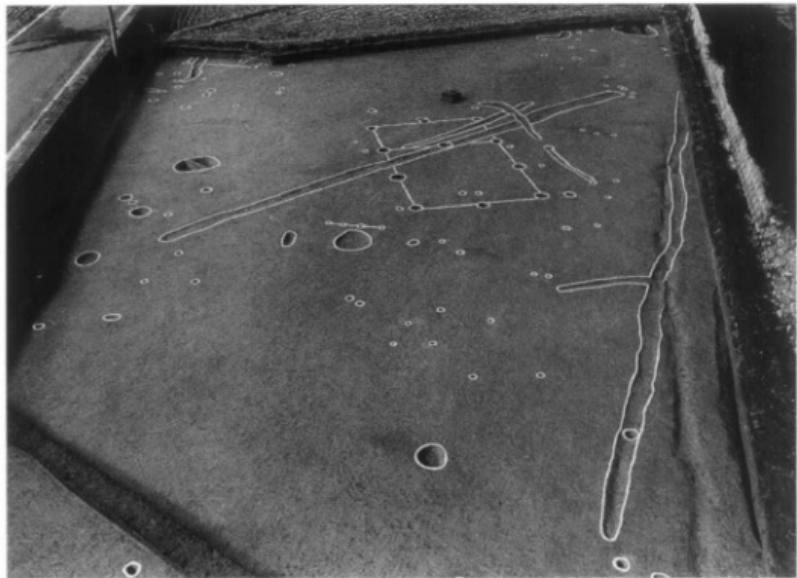


(1) S B 16柱穴検出状況

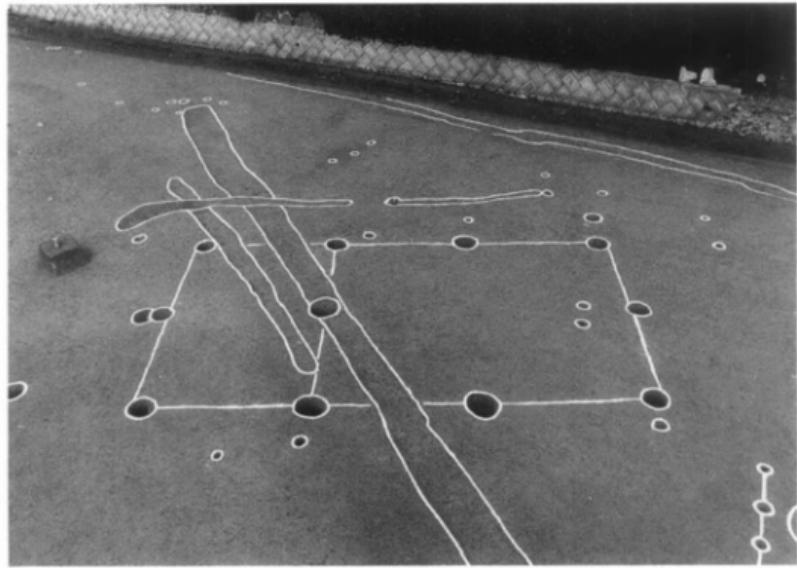


(2) S K 11検出状況

図版 12



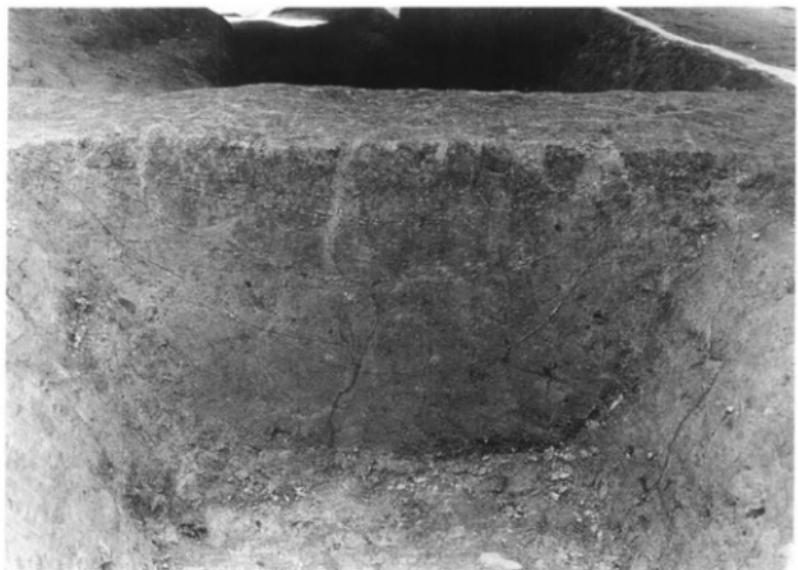
(1)N - 3, O - 3 遺構検出状況



(2)S B 20 + S D 36検出状況



(1) Q - 3, R - 3 遺構検出状況



(2) S D63検出状況

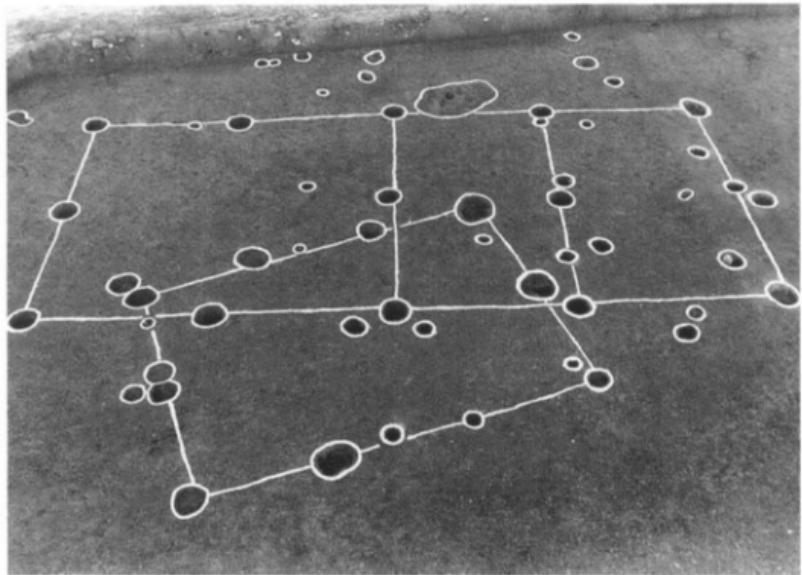
図版 14



(1) J - 6, K - 6 遺構検出状況



(2) S D 29遺物出土状況



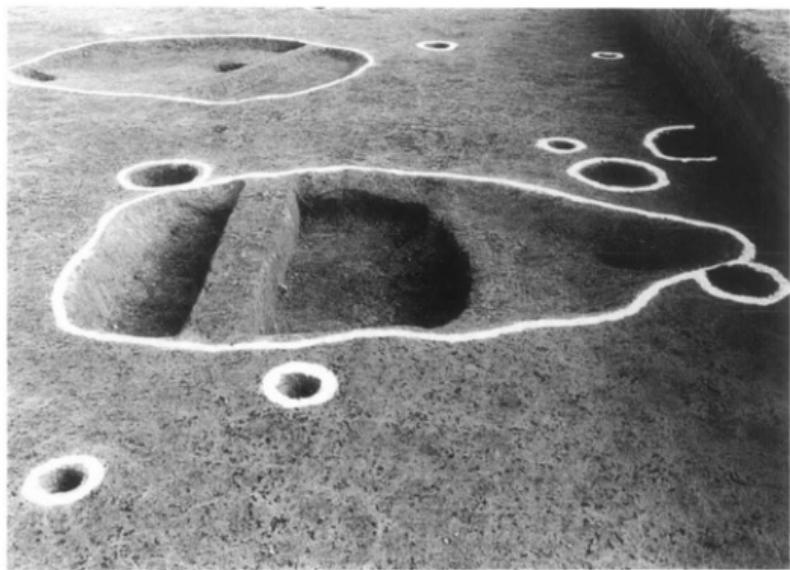
(1) S-B12 + 13検出状況



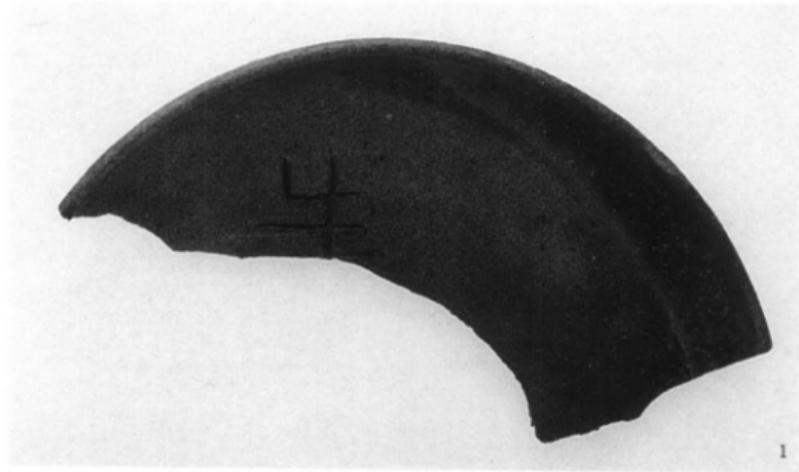
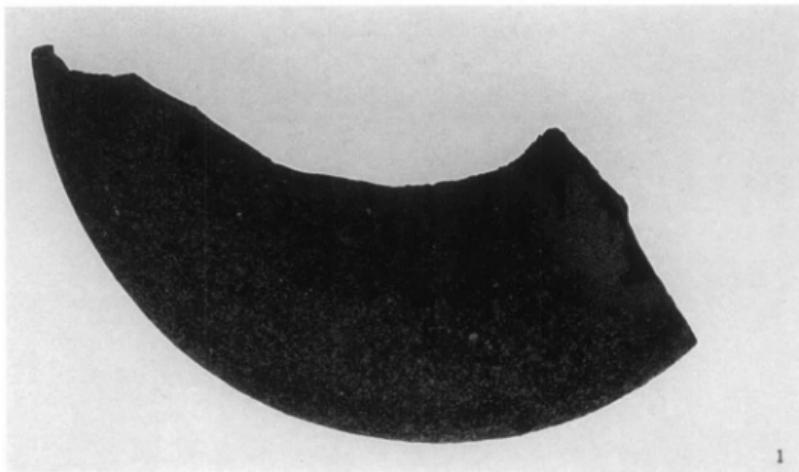
(2) O-2, P-2 遺構検出状況



(1) S D17検出状況

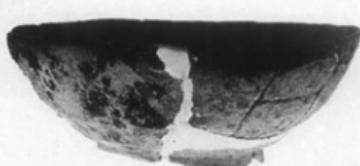
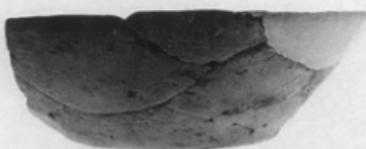
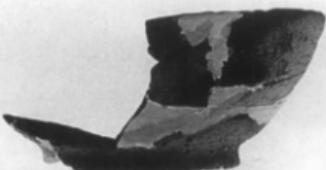
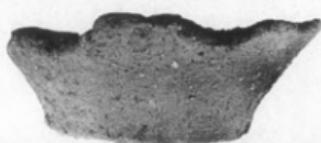


(2) S K05検出状況

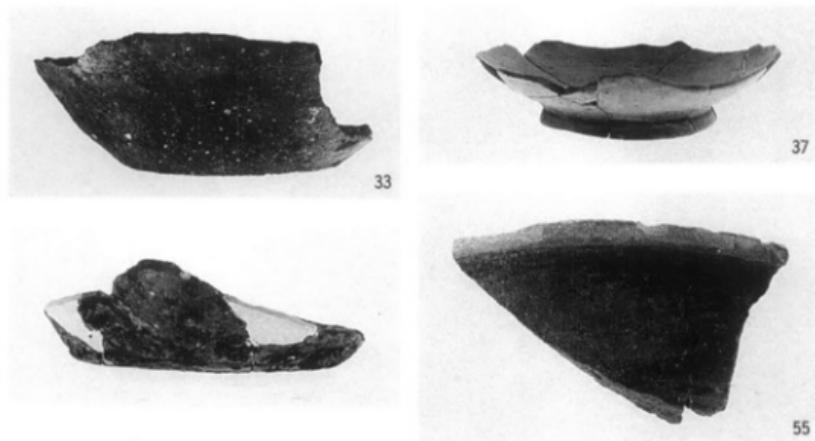
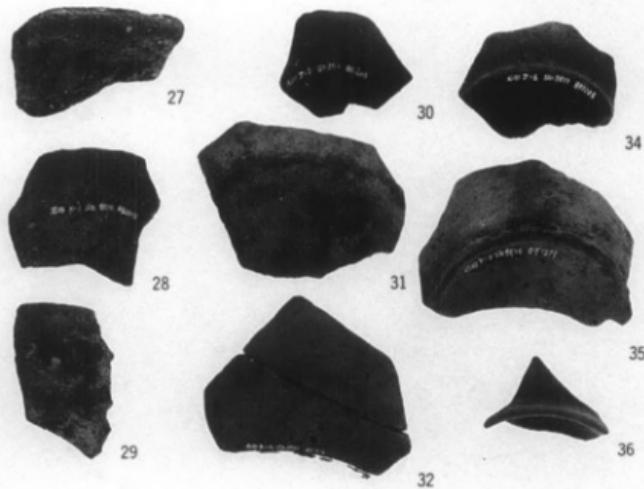


調査区周辺出土遺物（山本町菅生神社宮司 真屋哲氏所蔵）

図版 18

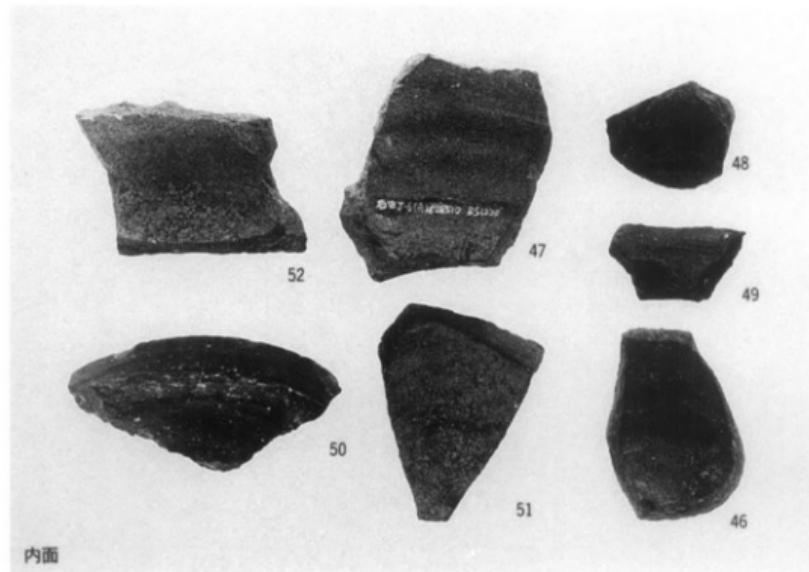


S K15, S D35, S B16, S B02, S D13・36・42・53・61, S K11出土遺物

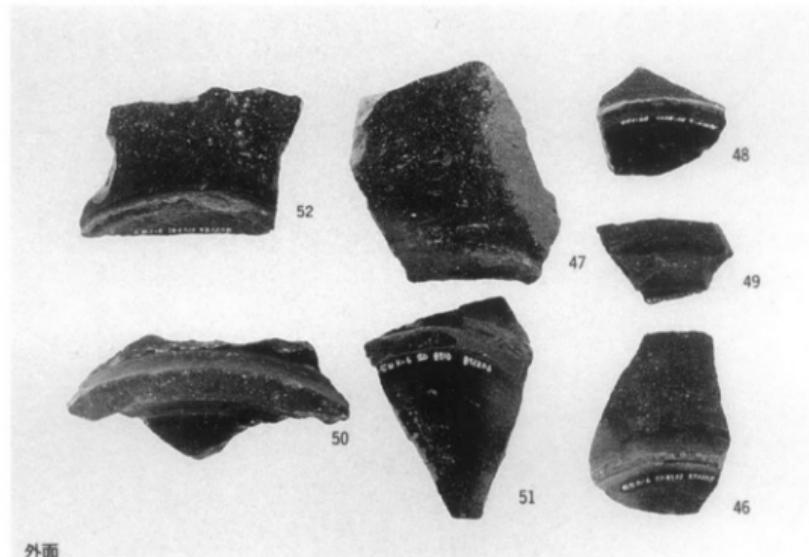


S D29出土遺物①

図版 20



内面



外面

S D 29出土遺物②



56



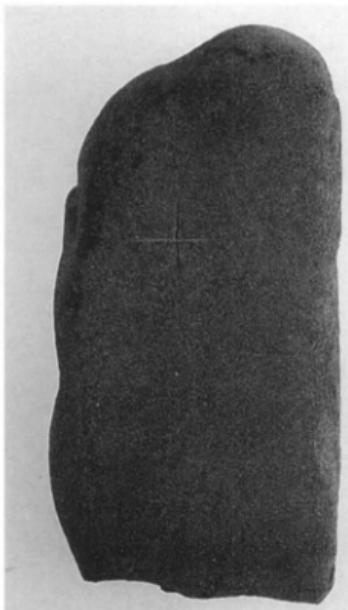
56



57



56



58



58

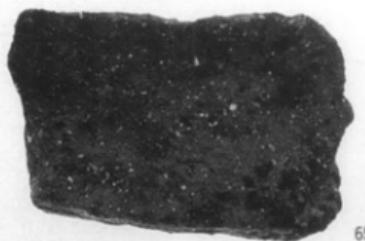
S D 29出土遺物③



63



64



65

(1) S K 09出土遺物

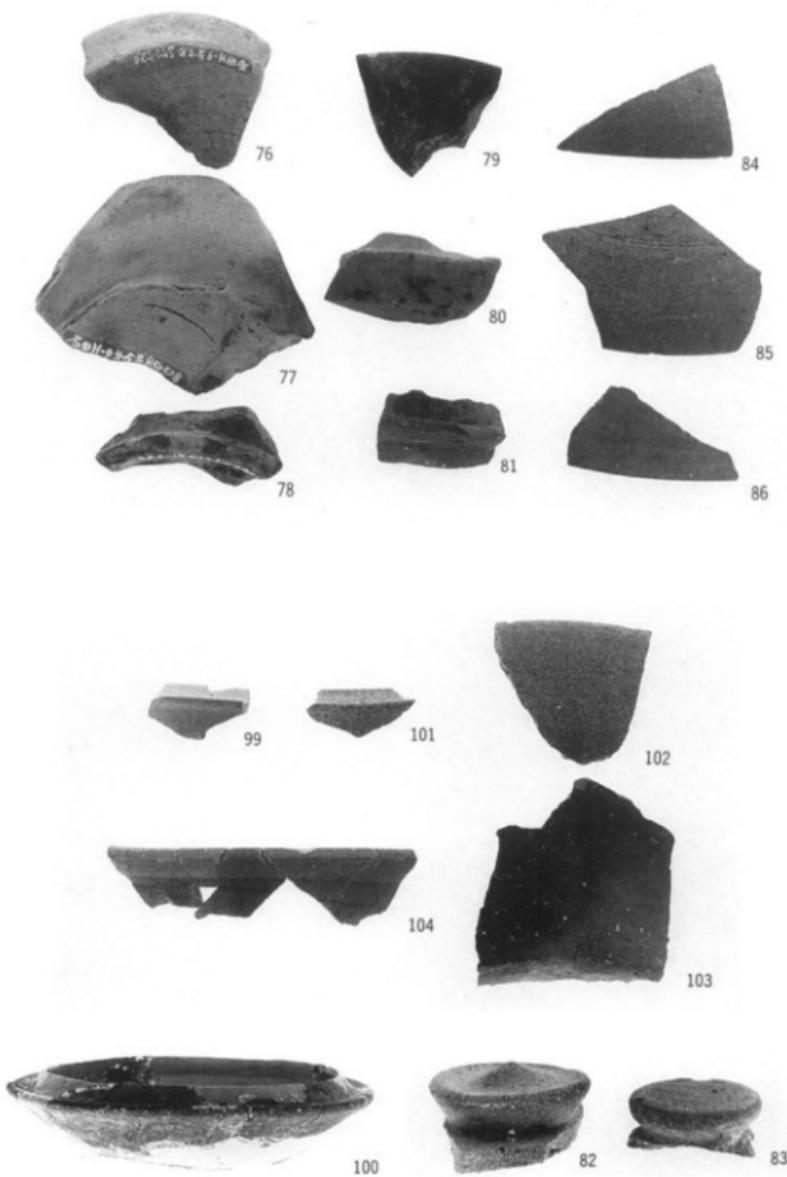


68



69

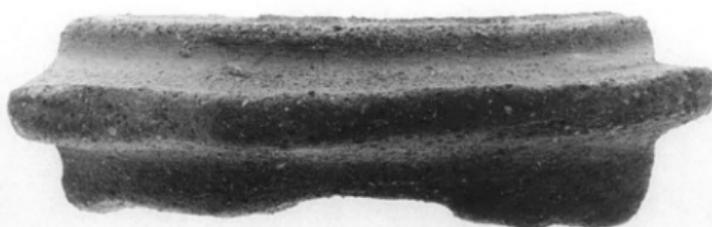
(2) S T 02出土遺物



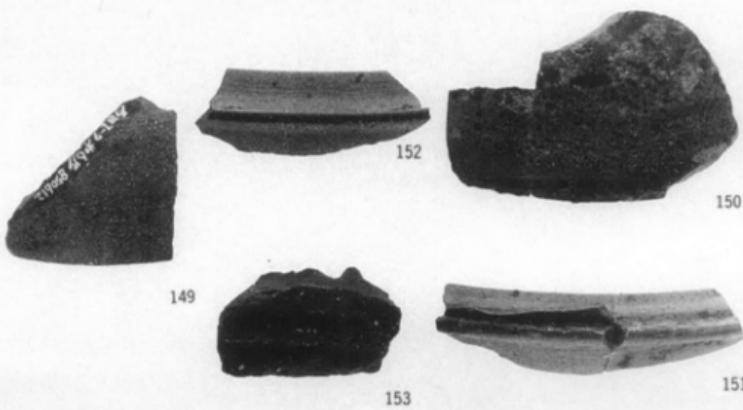
G - 9, H - 9 包含層出土遺物



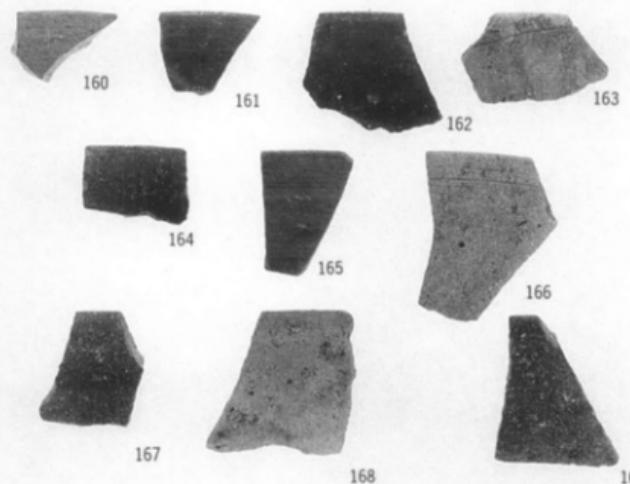
131



131



I - 9 包含層出土遺物①



I - 9 包含層出土遺物(2)

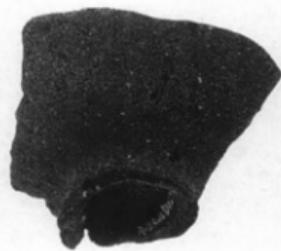
図版 26



208



210



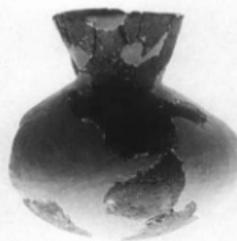
208



210

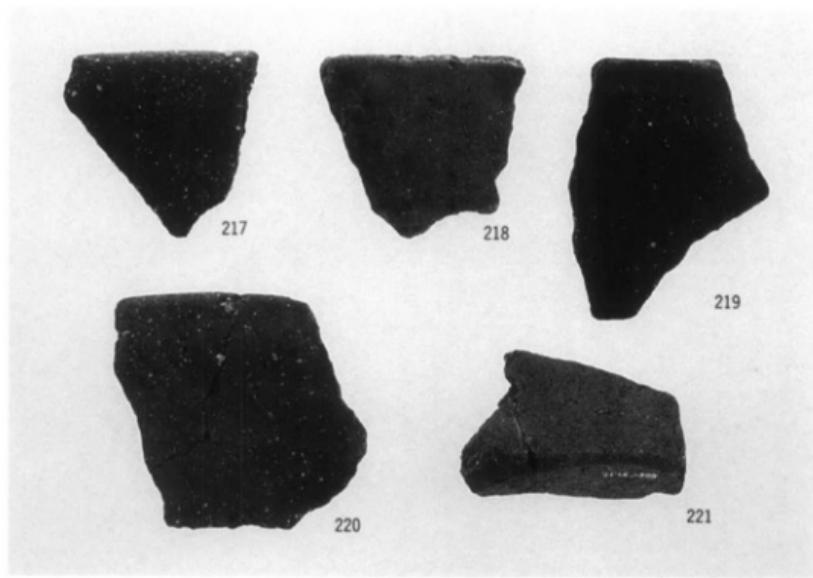
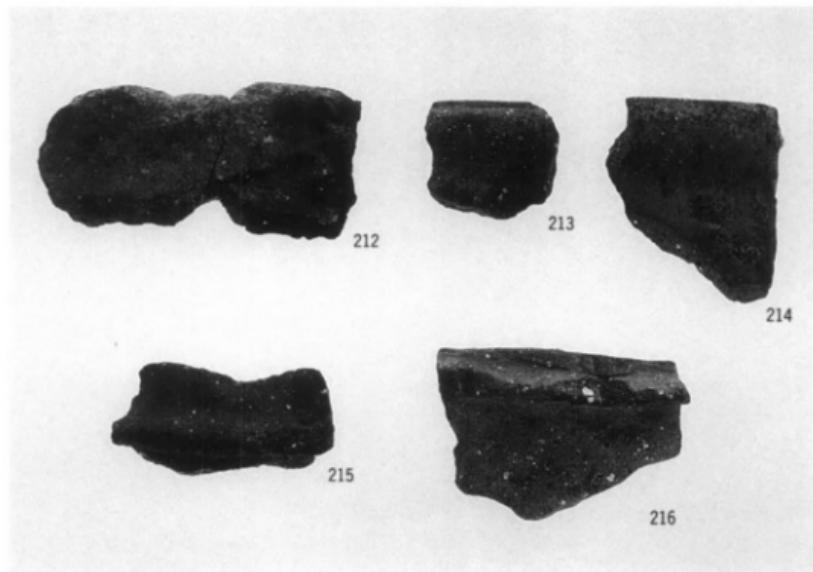


209



211

F-12第4層出土遺物



包含層出土遺物（土師質土器）①

図版 28



222



223

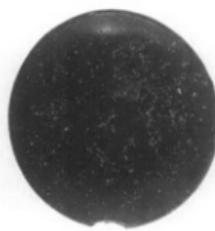


224



225

内面



229



222



223



229



224



225

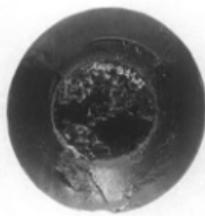
外面



226



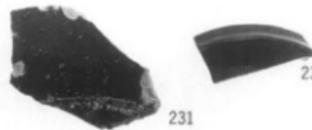
227



229



228



231

230

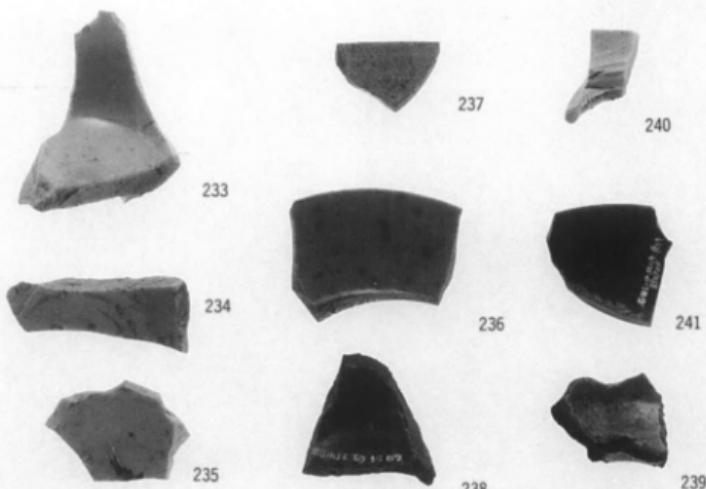


226

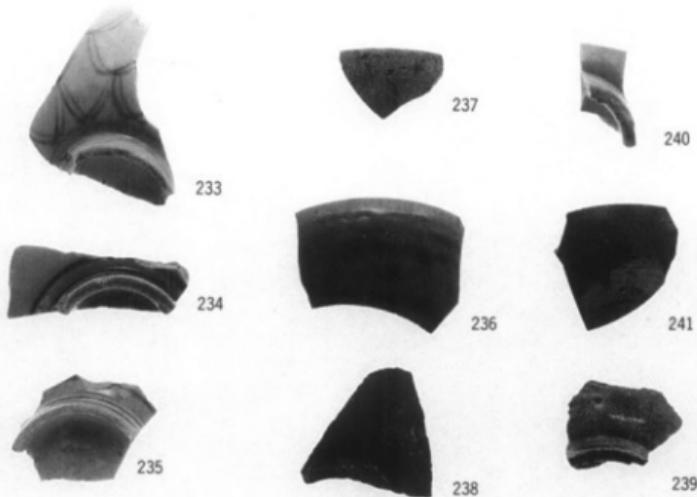


232

包含層出土遺物（陶磁器）②



内面



外面

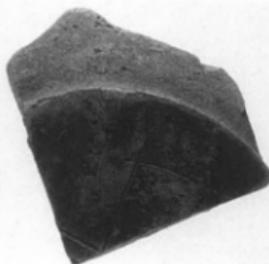
包含層出土遺物（陶磁器）③



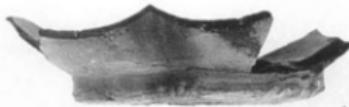
242



内面



245



143



143



250



251



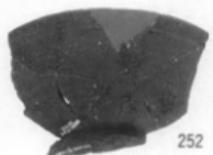
252



250



251



252



248



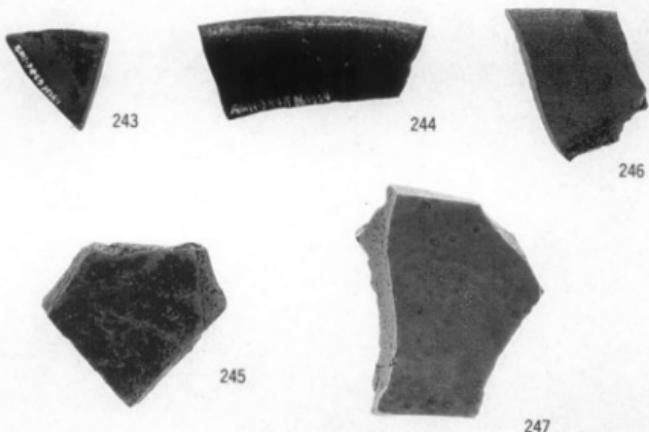
249



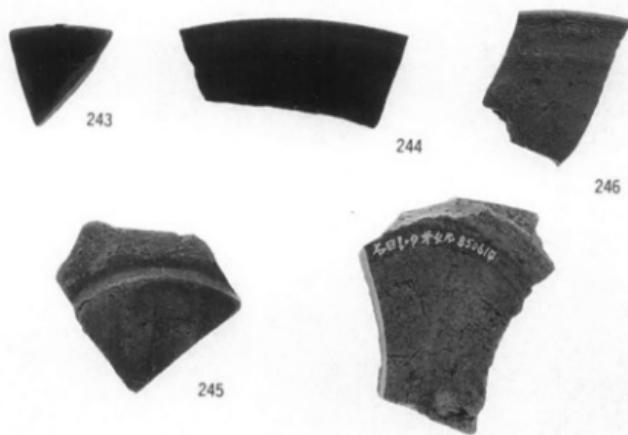
254



255

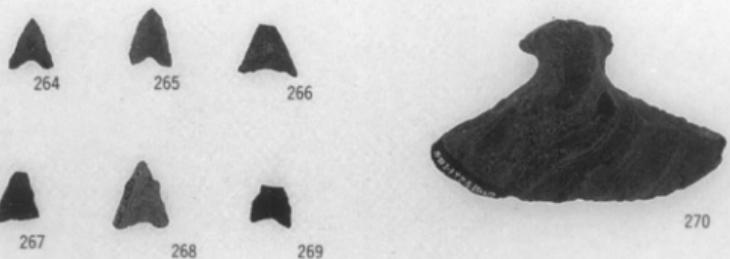
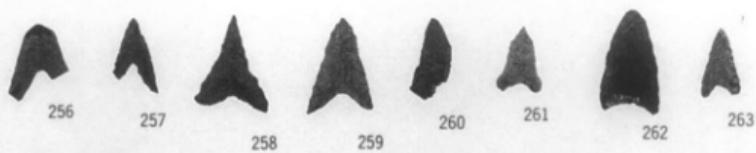


内面



外面

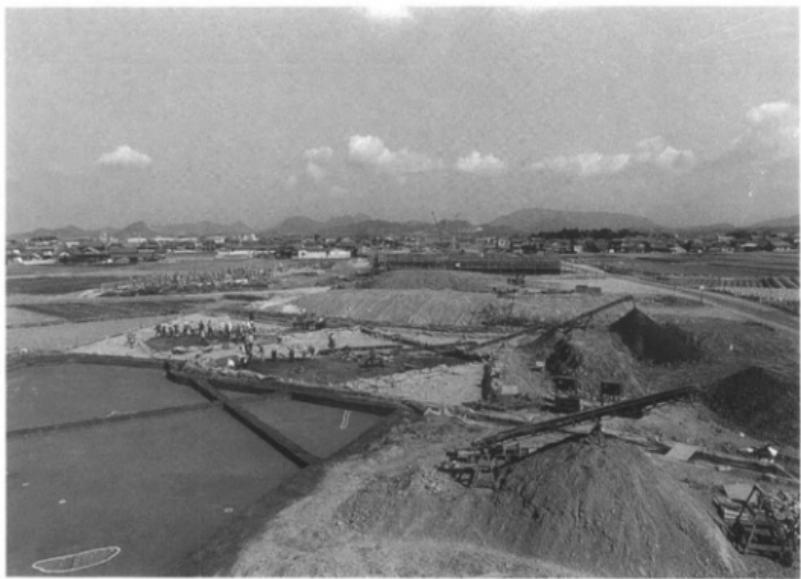
包含層出土遺物⑤



(1)包含層出土遺物(石製品)⑥



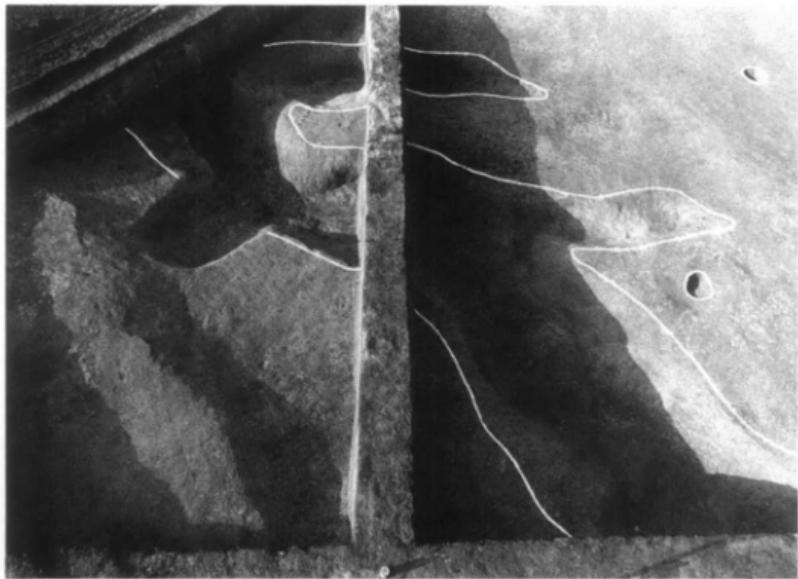
(2)母神山全景



(1)長砂古遺跡Ⅰ区北部発掘作業風景



(2)B-14, C-14遺構検出状況（南より）



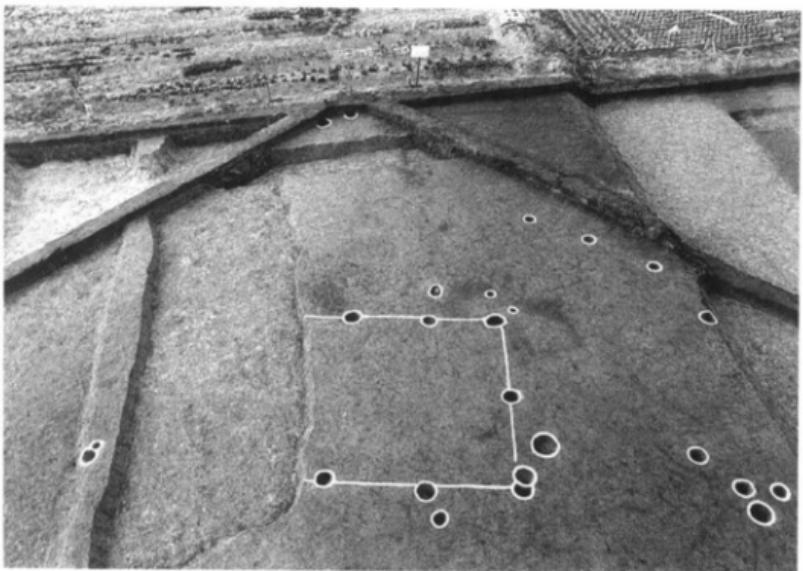
(1) S D 01・02・03検出状況



(2) S D 05, S K 02検出状況 (南より)

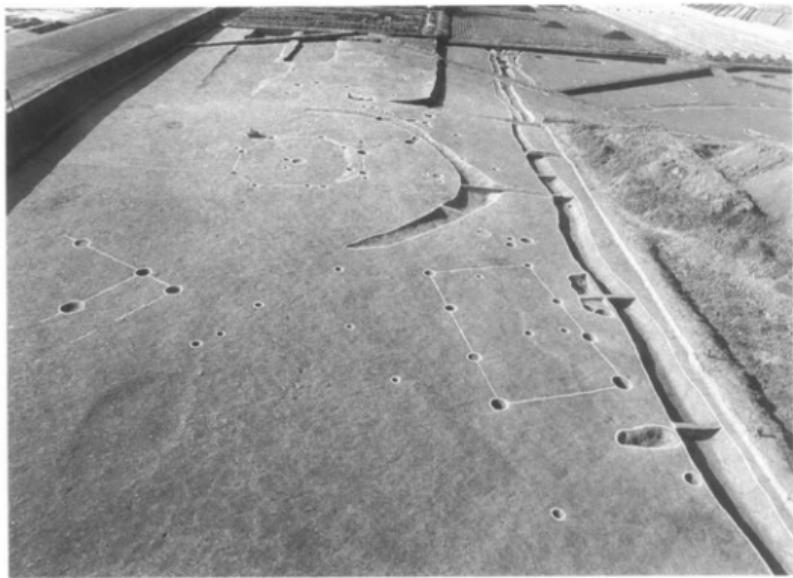


(1) D-12・13, E-12・13遺構検出状況（南東より）

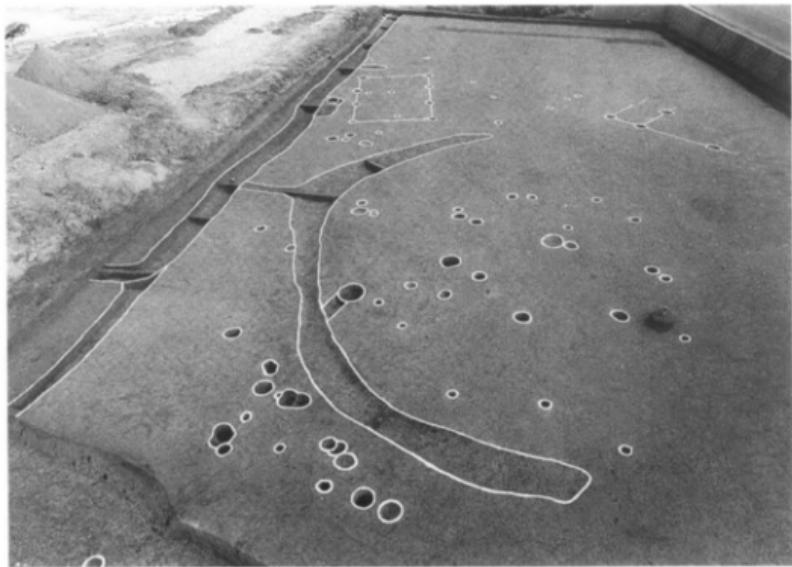


(2) S-B03検出状況（南東より）

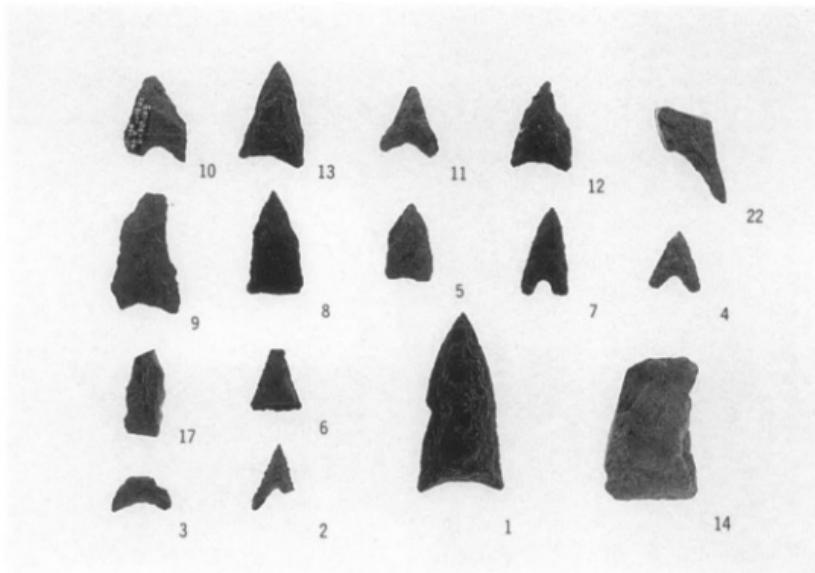
図版 36



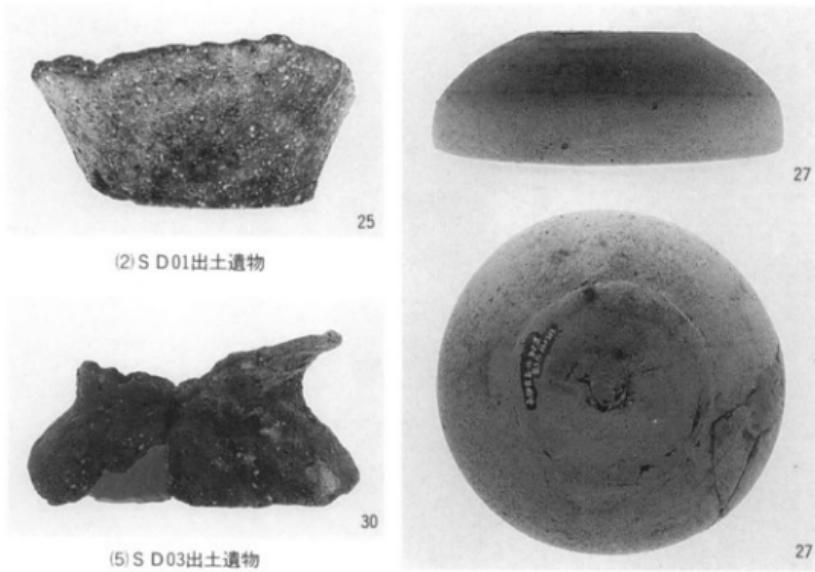
(1) D-12, E-12・13, F-13・14遺構検出状況（南東より）



(2) SH01検出状況（北より）



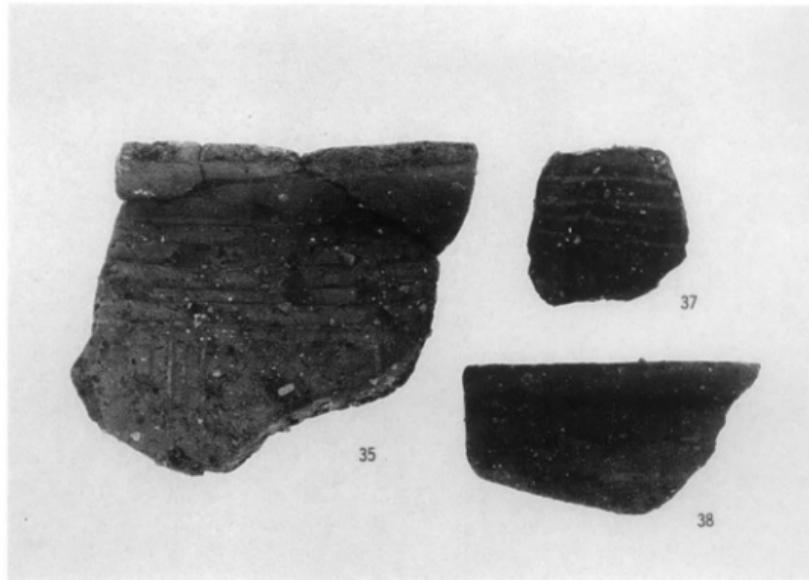
(1) I 区遺構出土石器



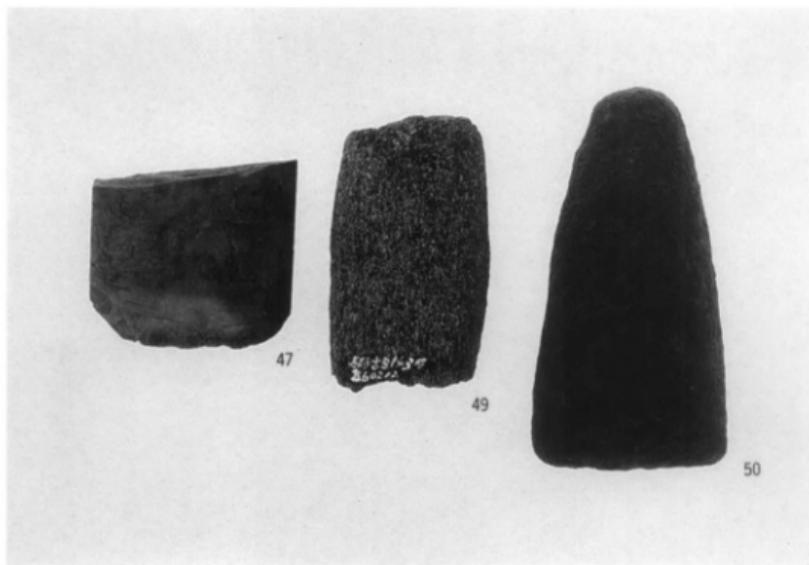
(2) S D 01出土遺物

(3)(4) S D 01出土遺物

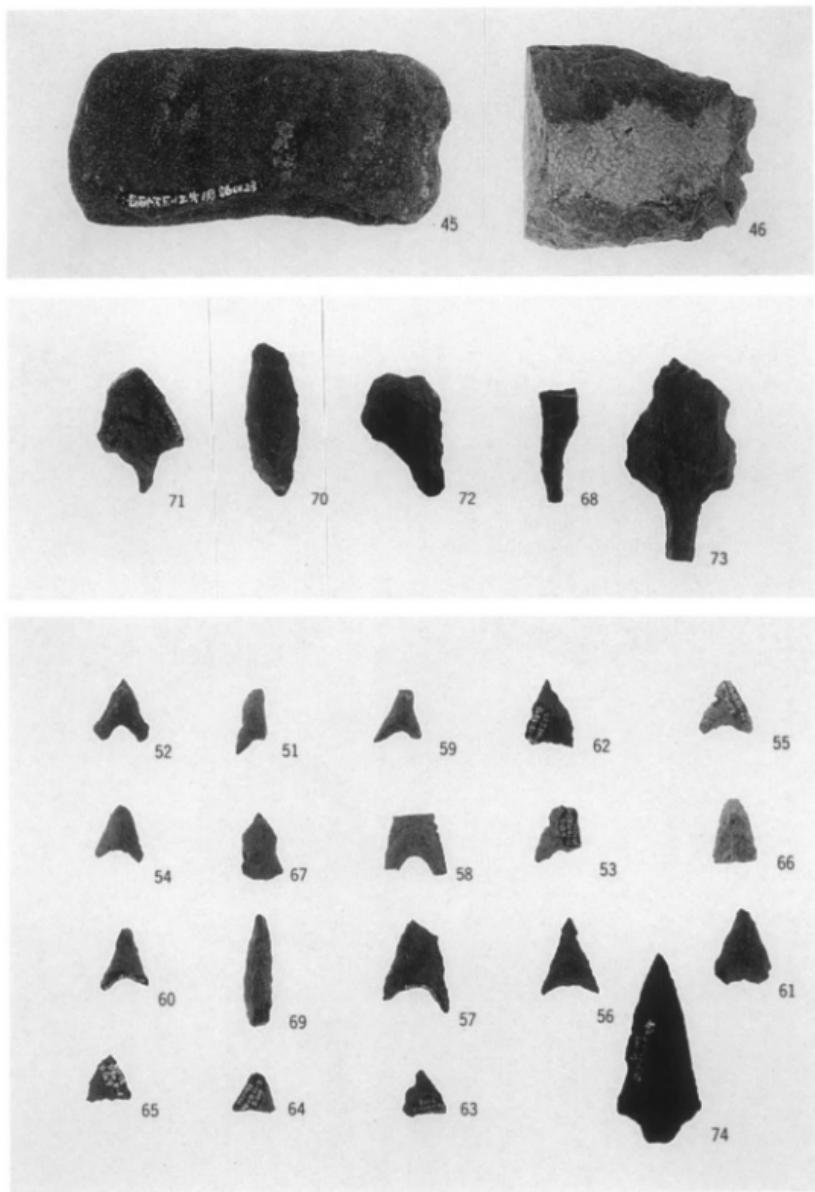
図版 38



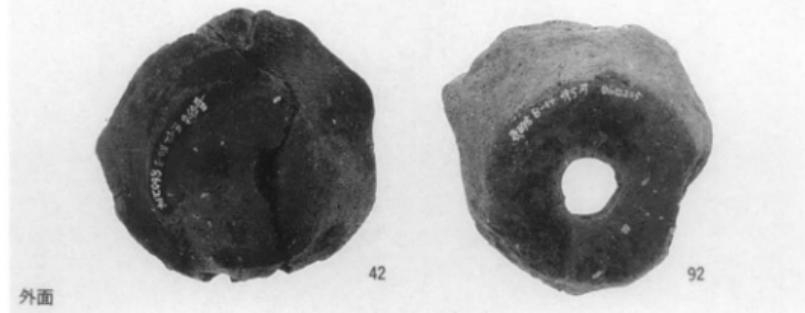
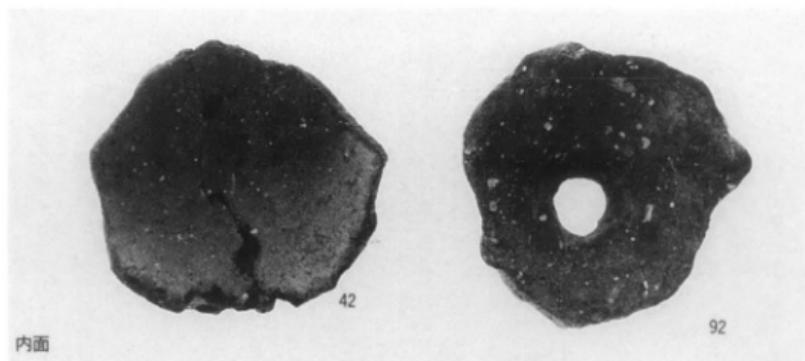
(1) S D 13出土遺物



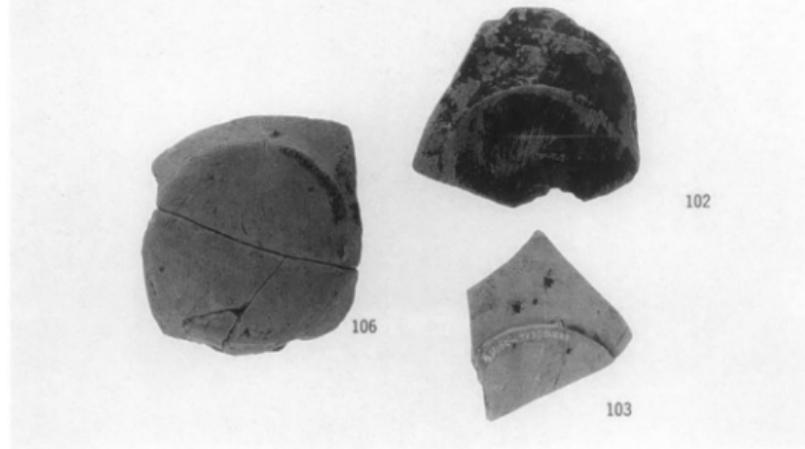
(2) I 区包含層出土石斧



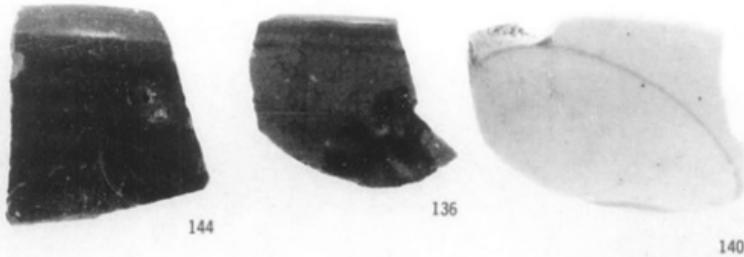
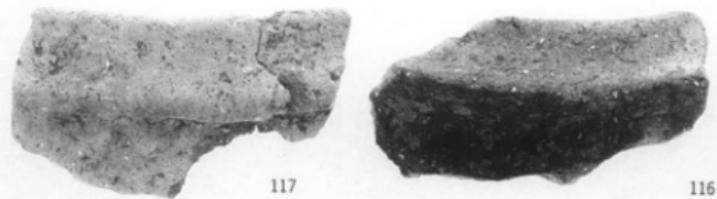
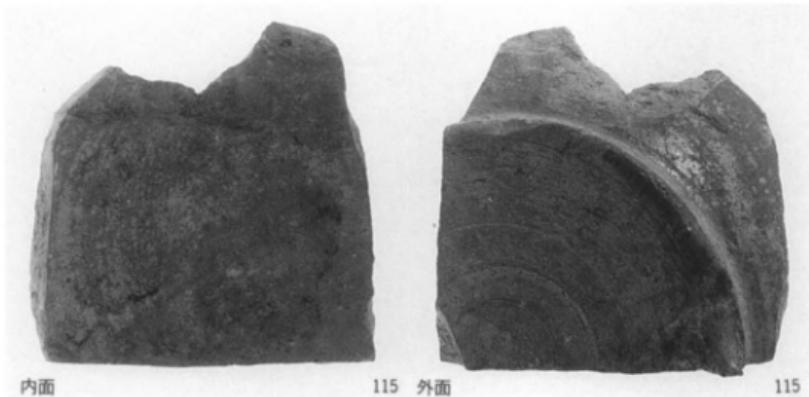
I 区包含層出土石器



(1) I 区出土弥生土器（底部）



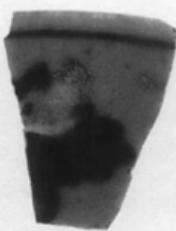
(2) I 区出土土師器坏底部（糸切り）



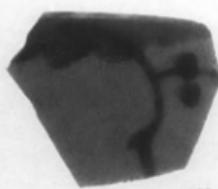
I 区包含層出土遺物①



142



138



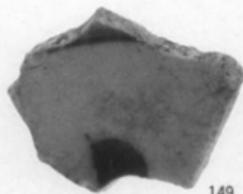
139



145



151

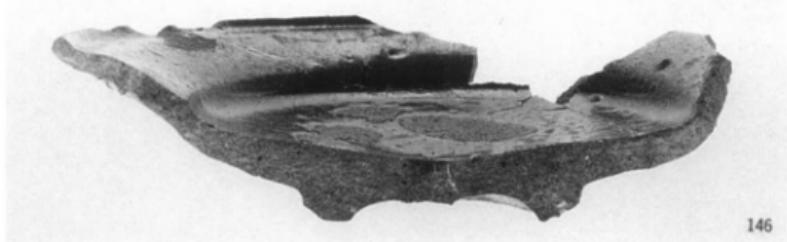
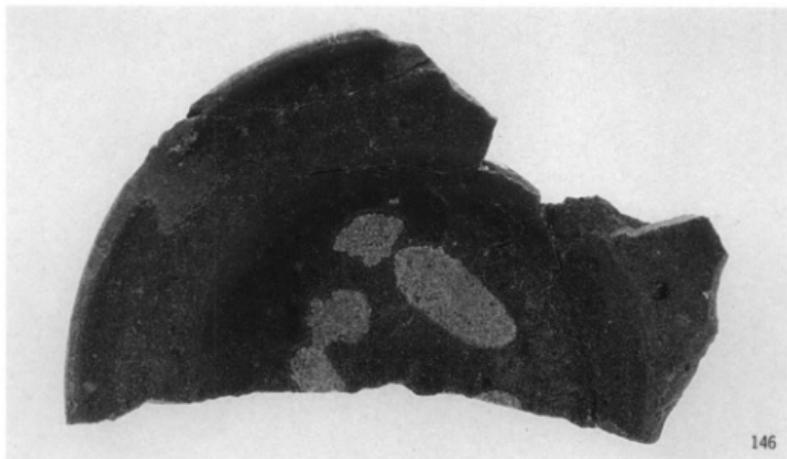


149

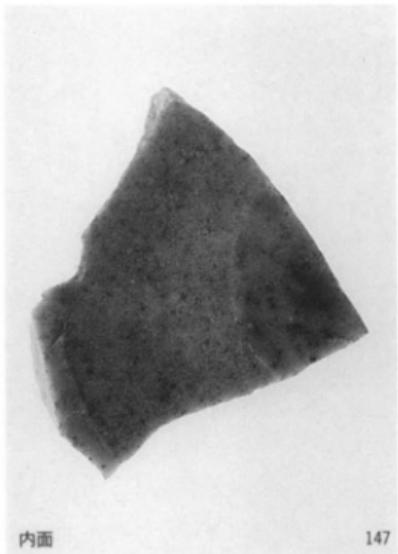


143

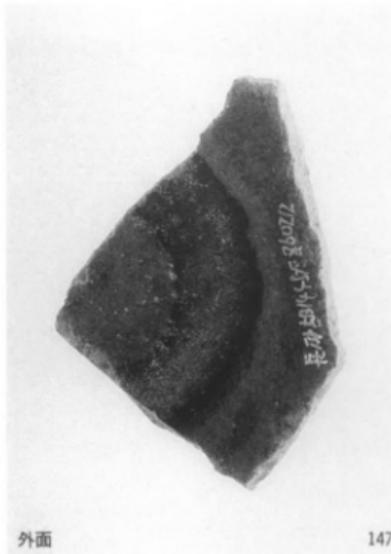
I 区包含層出土遺物 ②



I 区包含層出土遺物③



内面



外面

147

(1) I 区包含層出土遺物④



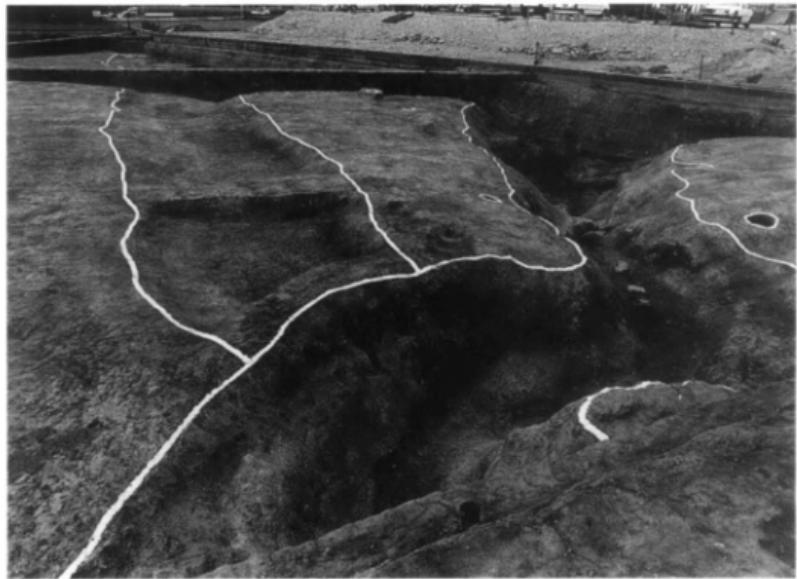
(2) I 区作業風景 (SH01付近)



(1)II区作業風景



(2)II区全景（北東より）



(1) S D15・16検出状況（南より）



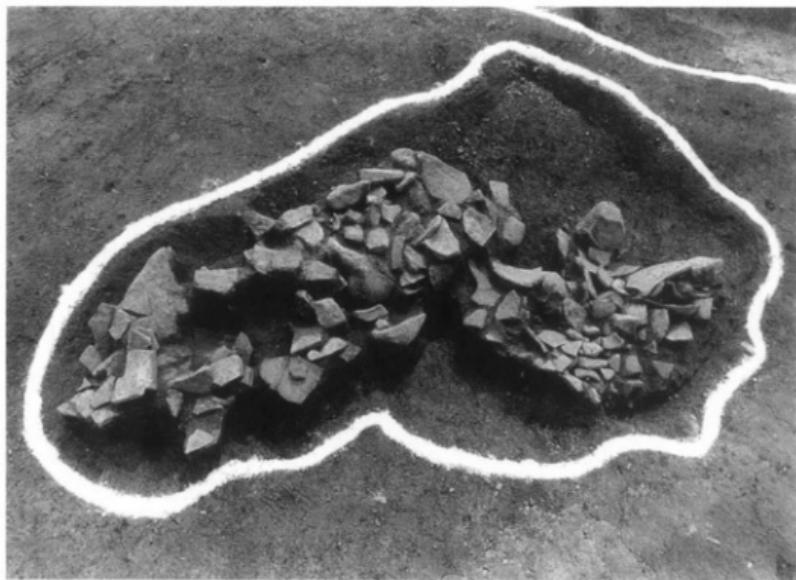
(2) S D16断面（北より）



(1) S D15断面（北より）



(2) I - 8, J - 8 遺構検出状況（南より）



(1) S K 08遺物出土状況



167



168

(2)(3) S D 16出土遺物①



165



166



175

S D16出土遺物②



161



158



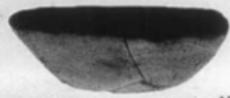
159



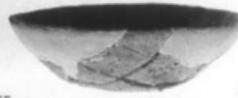
157



154



155



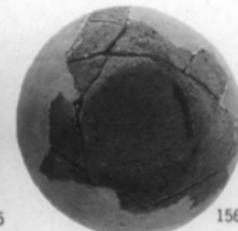
156



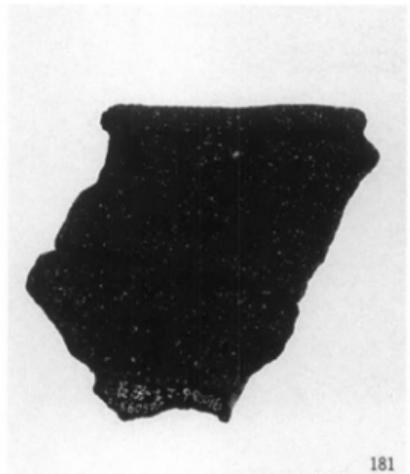
154



155



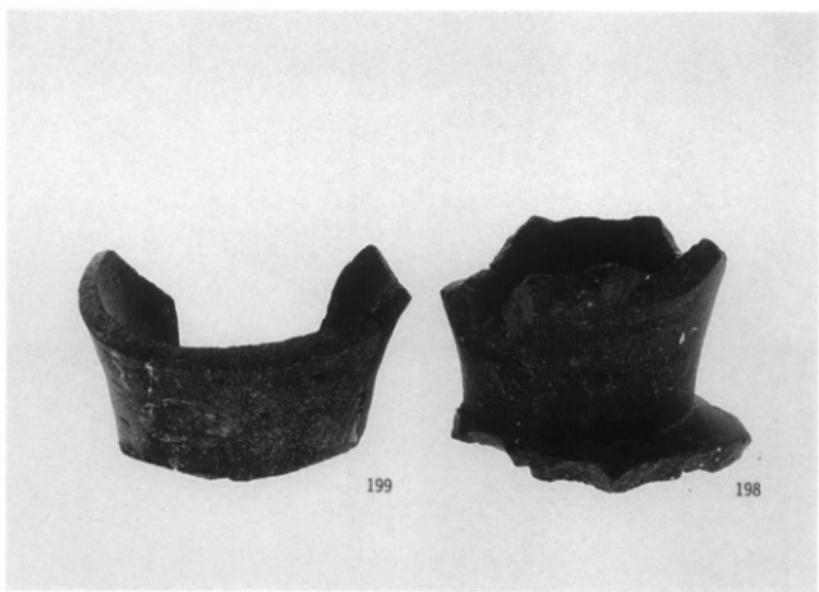
156



(1) S D 17出土遺物



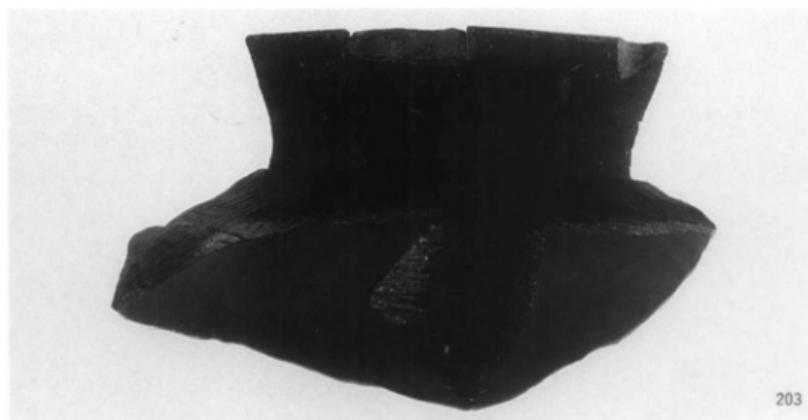
(2) S D 28出土遺物



(3) S K 08出土遺物①



202

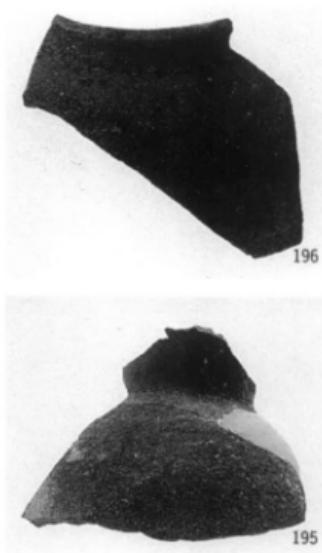


203



203

S K 08出土遺物 ②



S K 08出土遺物③

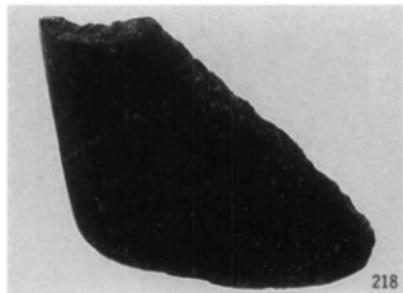


211

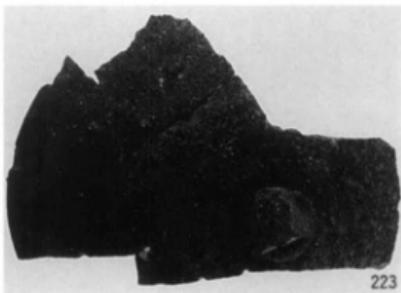


209

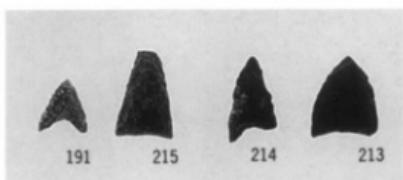
S K 08出土遺物④



218



223



191

215

214

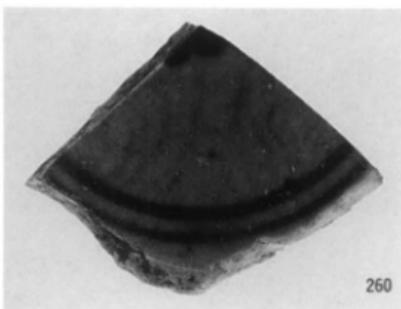
213



223



235



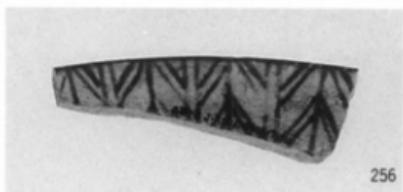
260



235

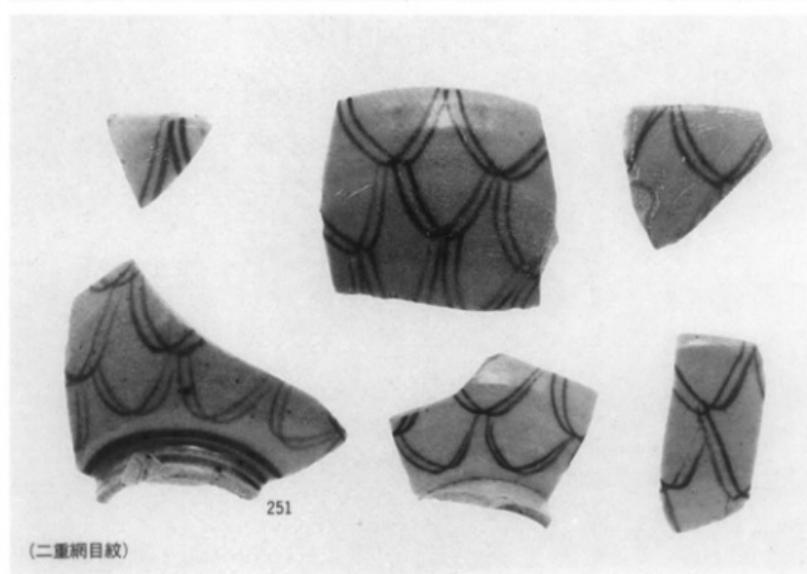
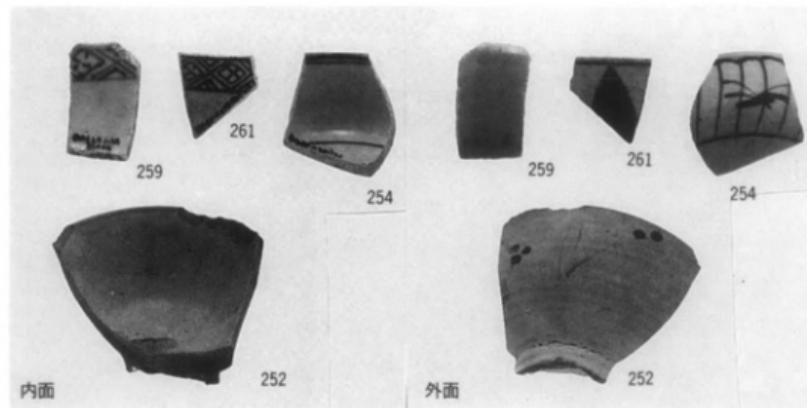


255

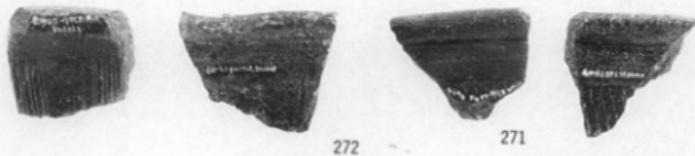


256

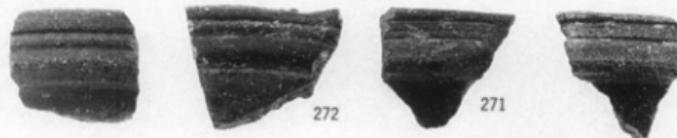
II区包含層出土遺物①



II区包含层出土遗物②

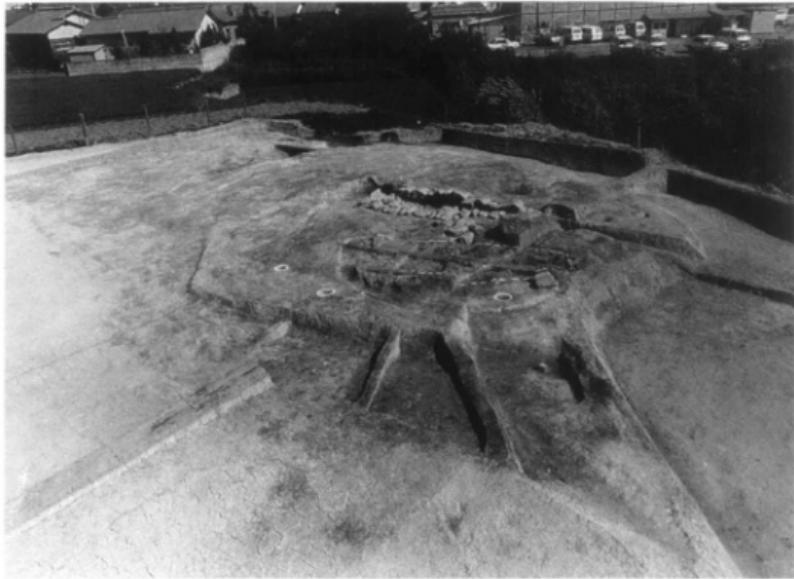


内面



外面

II区包含層出土遺物③



(1) SH02・長砂古4号墳遠景



(2)長砂古4号墳遠景



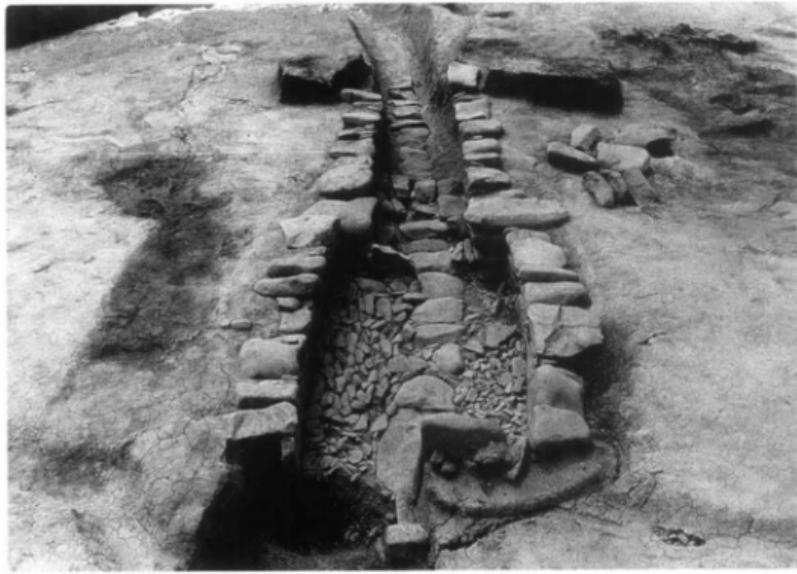
(1)長砂古4号墳羨道・版築土層断面



(2)墓道より玄室を望む



(1)床面（第一面）検出状況



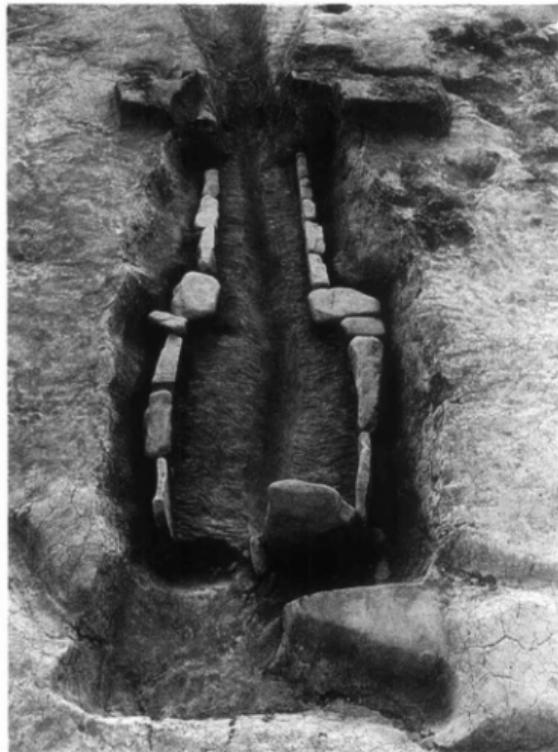
(2)床面（第二面）検出状況



(1)配水施設検出状況



(2)掘り方検出状況



(1)基底石検出状況



(2)石室左玄門部構築状況



(1) 玄室内床面遺物出土状况



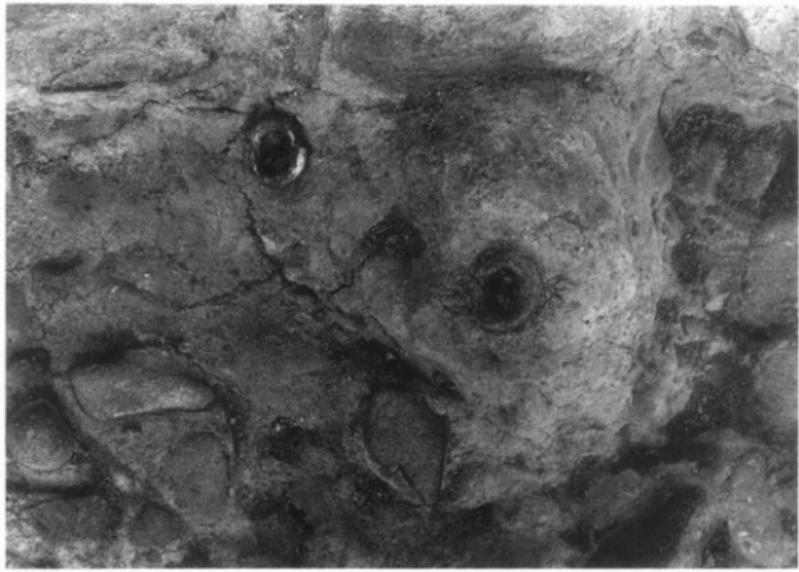
(2) 紡錘車出土状况



(3) 提瓶·臼玉出土状况



(1)玄室奥壁際鉄刀・耳環出土状況



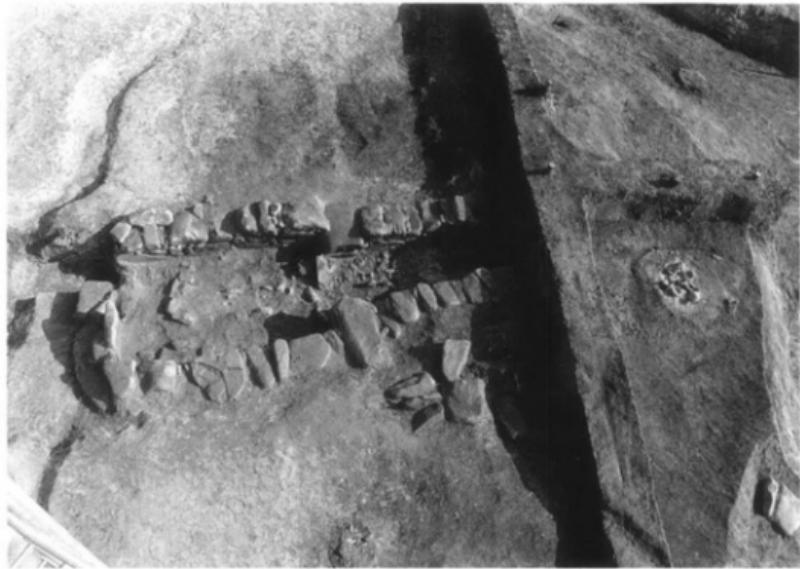
(2)耳環出土状況



(1)玄室床面白玉出土状況



(2)玄室床面雲珠出土状況



(3)墳丘内土器群出土状況



(1)周溝検出状況



(2)周溝土層断面



291



295



294



ヘラ記号拡大
296



297

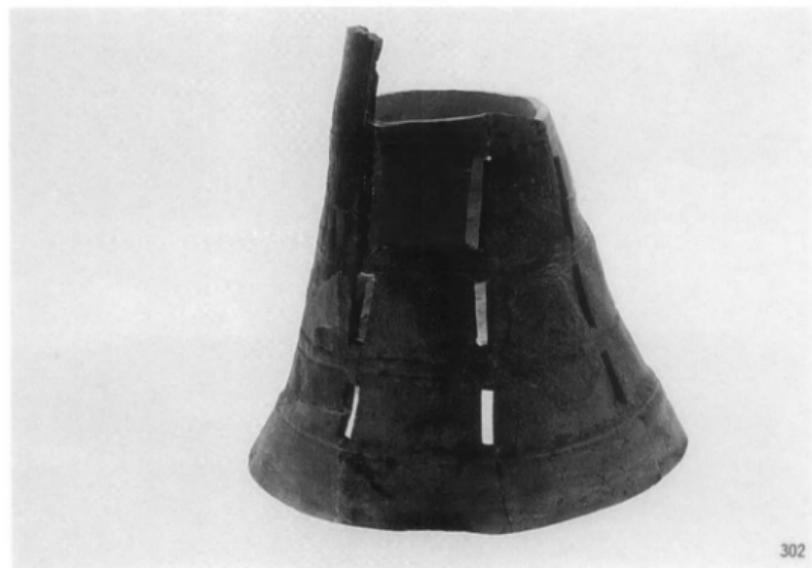


296

石室内出土遺物（須恵器）①



301



302

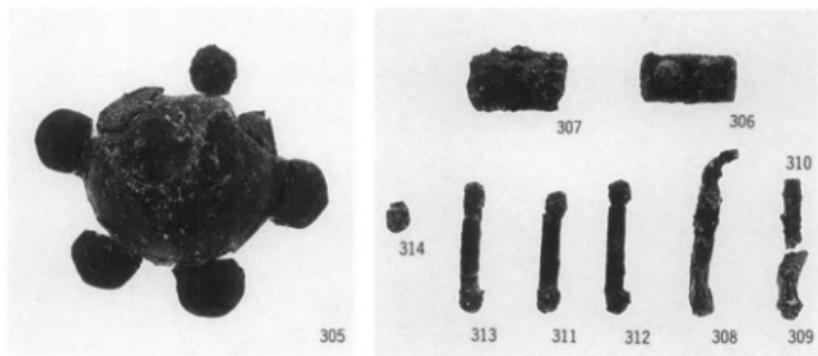
石室内出土遺物（須恵器）②



303



304



307

306

314

313

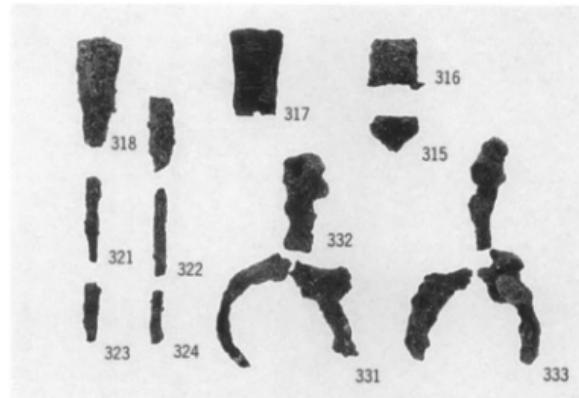
311

312

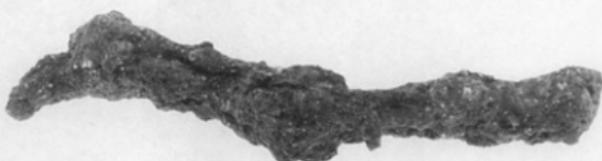
308

309

310



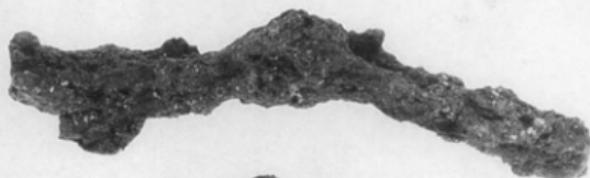
石室内出土遺物（鉄製品）③



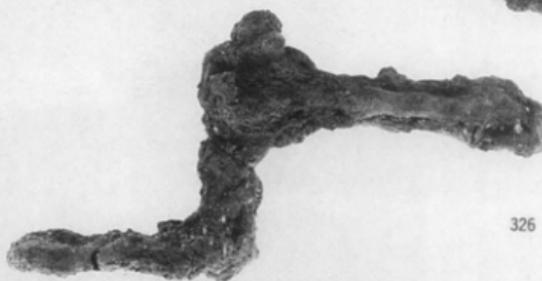
325



326

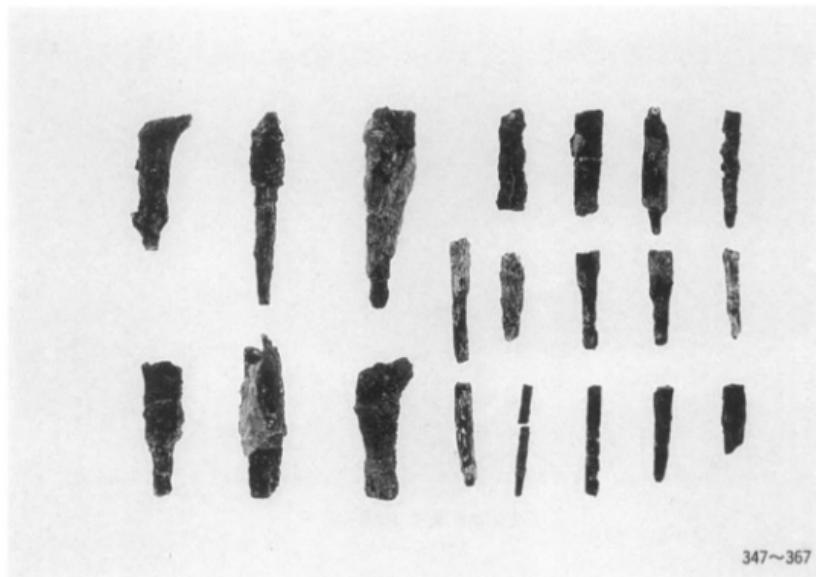
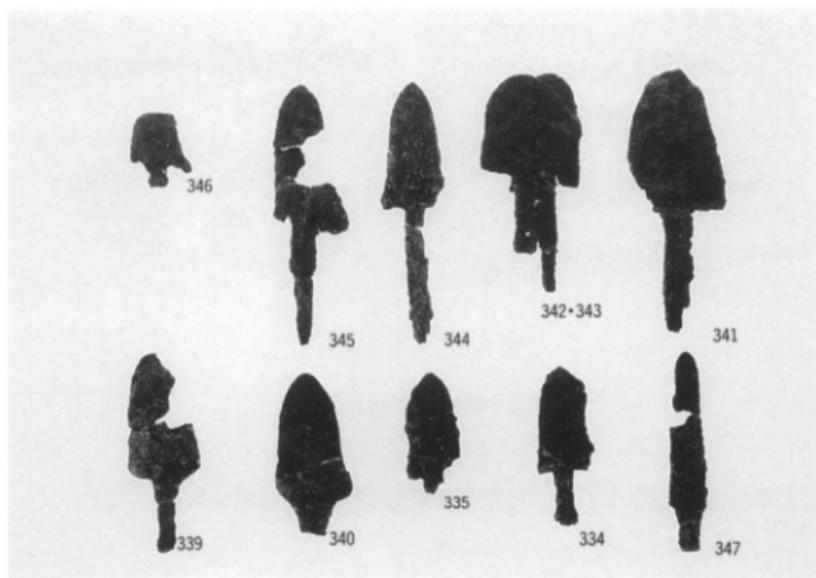


325

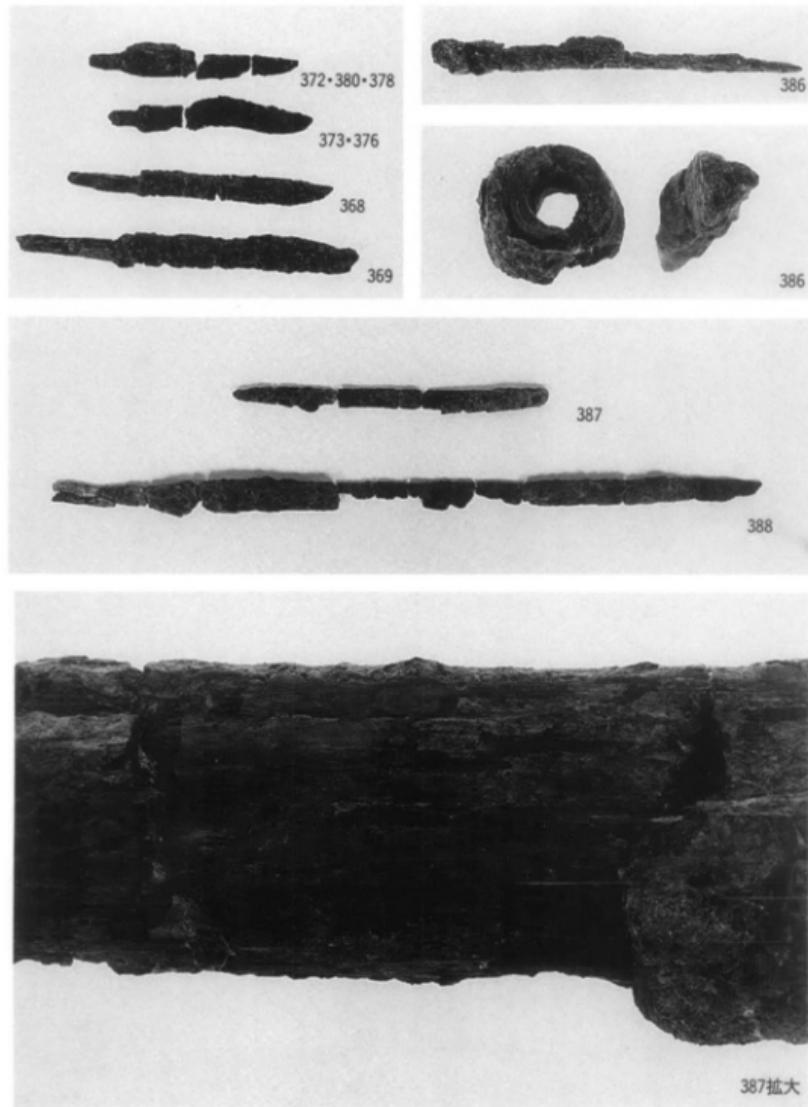


326

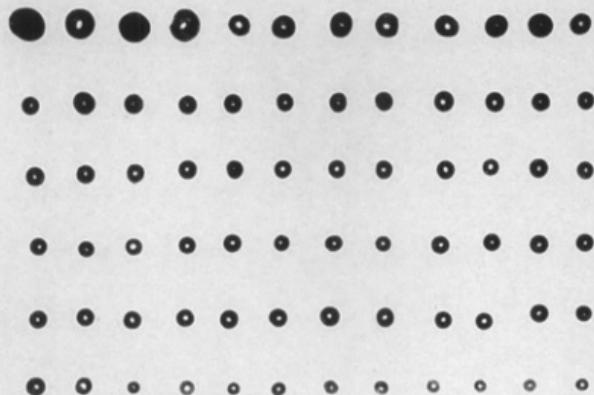
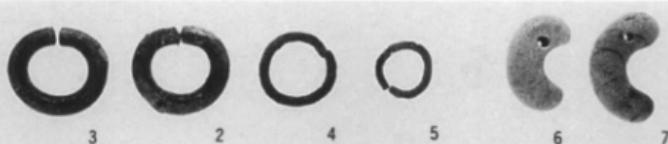
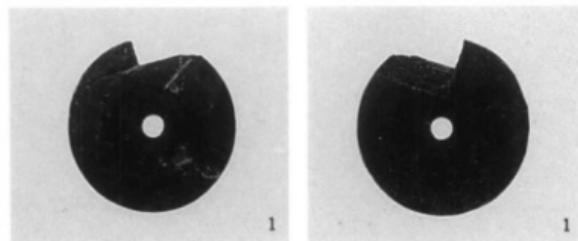
石室内出土遺物（鉄製品）④



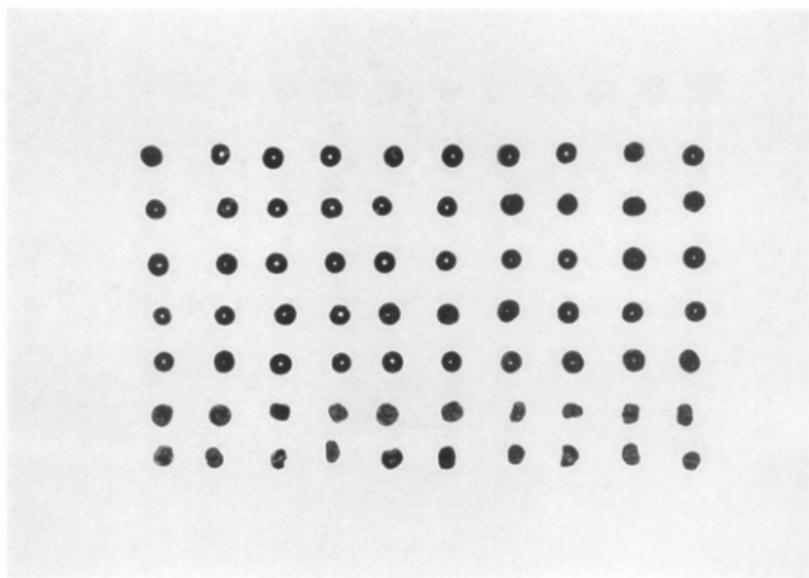
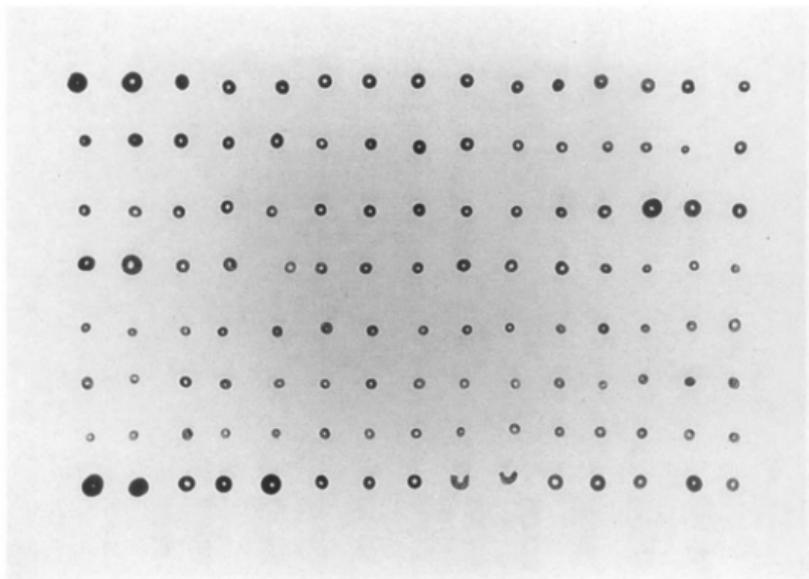
石室内出土遺物（鉄製品）⑤



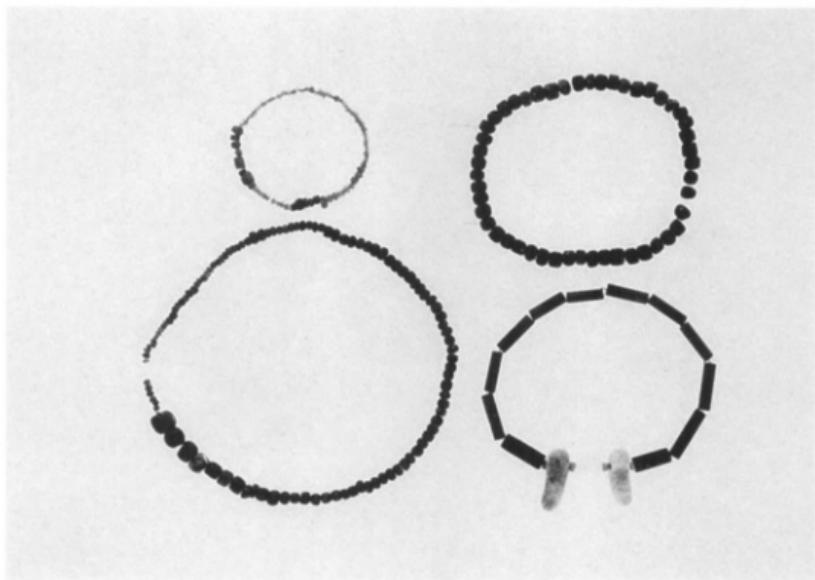
石室内出土遺物（鉄製品）⑥



石室内出土遺物（装飾品）⑦



石室内出土遺物（装飾品）⑧



(1)石室内出土遺物⑨



(2)長砂古4号墳出土遺物



(1)右侧土器群



(2)左侧土器群



(1)左侧土器群出土状况



389

396



390

397



391

398



392

403

(2)~(5)左侧土器群出土遗物



左側土器群出土遺物



411



407



408



412



409



410

右側土器群出土遺物



406



413

(1)(2)右側土器群出土遺物



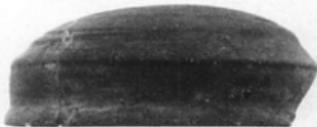
(3)発掘調査に従事した人々



289



287

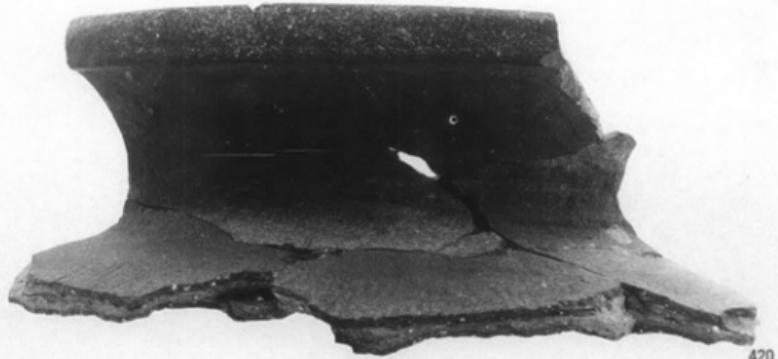


286



288

(1)～(4) S D 31出土遺物



420

(5) S D 34出土遺物 (周溝)